

2018年12月期
決算説明資料

2019.2.8
株式会社ビジョン
証券コード：9416

- 業績ハイライト、2018年12月期実績
- 今期（2019年12月期）の見通し
- 成長戦略について
- APPENDIX
 - グループ体制
 - 業績データ
 - グローバルWiFi事業 市場規模
 - グローバルWiFi事業 顧客属性（法人・個人）／（新規・リピート）／（男女／年代・過去累計）
 - 情報通信サービス事業 市場規模
 - 有償ストック・オプション発行概要
- 事業概要

業績ハイライト、2018年12月期実績

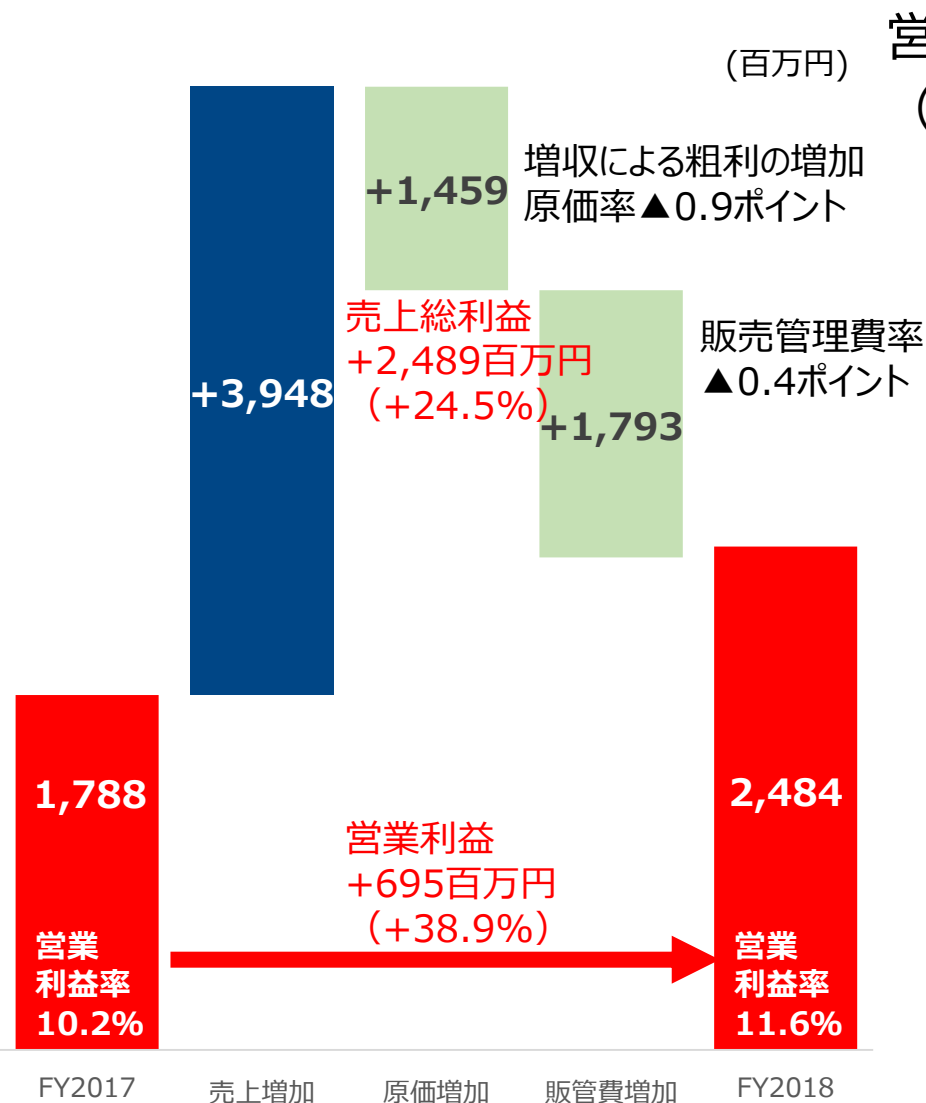
2018年12月期決算概要（連結）



売上高、各利益とも過去最高値を更新。

(百万円、%)

科目	2018年12月期実績		増減		
	金額	構成比	金額	増減率	
売上高	21,503	100.0	+3,948	+22.5	
	FY2017実績	17,554	100.0	+2,711	+18.3
売上総利益	12,650	58.8	+2,489	+24.5	
	FY2017実績	10,160	57.9	+1,538	+17.8
営業利益	2,484	11.6	+695	+38.9	
	FY2017実績	1,788	10.2	+498	+38.6
経常利益	2,499	11.6	+704	+39.3	
	FY2017実績	1,795	10.2	+496	+38.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,529	7.1	+320	+26.5	
	FY2017実績	1,208	6.9	+394	+48.5



営業利益率11.6%

(前年同期比1.4ポイント上昇)

- 日本から海外への渡航者および訪日外国人ともに過去最多。
- グローバルWiFi事業：
 - 法人を中心とした安定したリピート利用を下支えに、新規獲得によりレンタル件数大幅に伸長。継続的な原価効率改善やコスト削減が進み、一層の収益性向上。
 - ・ ポリュームディスカウントによる通信原価の低減
 - ・ クラウドWiFiの活用
 - W-Filター及び通信回線の効率的な稼動
 - 出荷工程削減
 - 通信状況監視の効率化 等
 - ・ 人件費率の効率化
 - 問い合わせ対応省力化 (AI・RPA活用FAQ、チャットボット対応等)
 - 受渡し省力化 (法人向け備え置きプラン「グローバルWiFi for Biz」、自動受け取りロッカー「スマートピックアップ」増設 等)
- 情報通信サービス事業：
 - 収益性の高いサービス強化と共に、アップセル／クロスセル戦略により増収増益。

セグメント業績

- グローバルWiFi事業：売上高 **30.0%増**、セグメント利益 **51.5%増**。
- 情報通信サービス事業：売上高 **9.4%増**、セグメント利益 **3.9%増**。

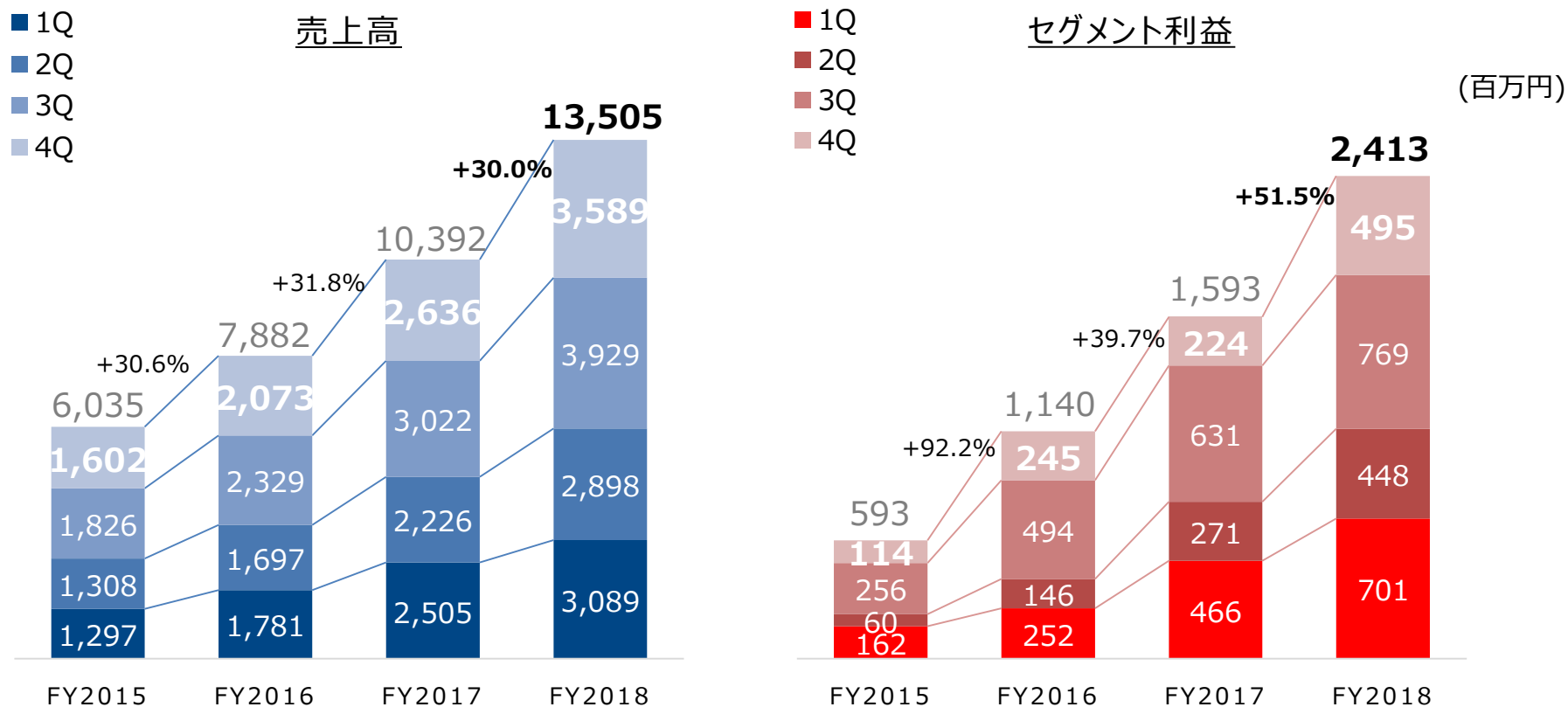
(百万円、%)

	2018年12月期		2017年12月期		増減	
	金額	金額	金額	金額	増減率	増減率
売上高	グローバルWiFi事業	13,505	10,392	+3,113	+30.0	
	情報通信サービス事業	7,775	7,104	+670	+9.4	
	報告セグメント計	21,281	17,496	+3,784	+21.6	
	その他	231	58	+172	+295.8	
	調整額	△8	—	△8	—	
	合計（連結）	21,503	17,554	+3,948	+22.5	
セグメント利益	グローバルWiFi事業	2,413	1,593	+820	+51.5	
	利益率	17.9	15.3	+2.5	—	
	情報通信サービス事業	1,218	1,172	+46	+3.9	
	利益率	15.7	16.5	△0.8	—	
	報告セグメント計	3,632	2,765	+867	+31.4	
	その他	△194	△102	△91	△88.9	
調整額	△954	△874	△79	△9.1		
合計（連結）	2,484	1,788	+695	+38.9		

グローバルWiFi事業 業績推移

日本から海外への渡航者および訪日外国人ともに過去最多。順調に推移し、増収増益を継続。

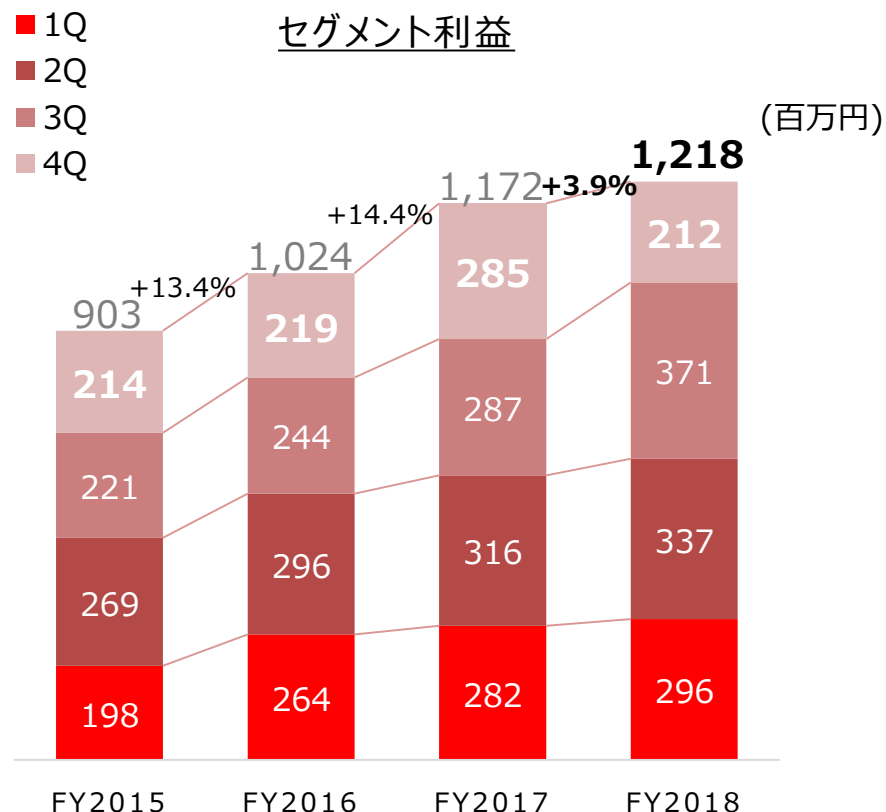
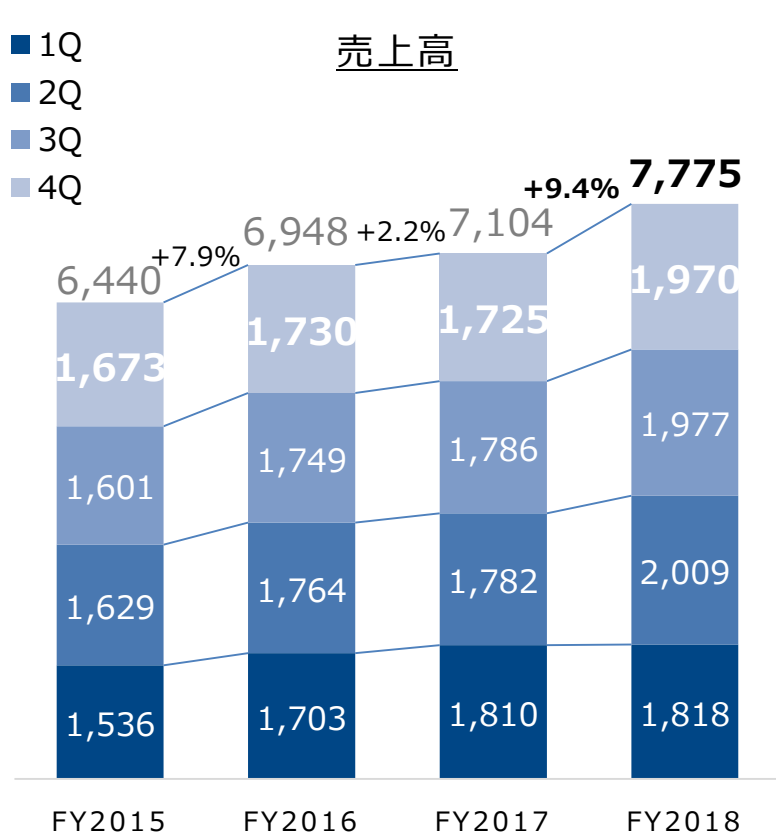
- 各種キャンペーンの効果により日本から海外の個人旅行の獲得が大幅に増加。
- 法人需要、インバウンド需要も順調に取り込み。
- 原価効率、販売管理費効率共に継続した改善が奏功。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

増収増益。安定成長を継続。

- 主要顧客（新設法人・ベンチャー企業）の獲得が、引き続き順調。
- LED販売（OA機器販売事業）において、ニーズに合わせ売り切りからレンタルモデルへ変更（同変更により機器仕入原価の先出し計上。2019年12期よりレンタル資産として3年間の減価償却へ変更）
- CRMによる継続取引の積み上げ（ストックモデル）。
 - ・ アップセル／クロスセル戦略による積み上げ。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

- 「進化への挑戦～第2章～」を実現する取り組みを推進。
 - 事業の拡大と周辺ビジネスの収益化で差別化。
 - 業界圧倒的No.1（生産性、シェア、利益）を実現。

セグメント	トピック	自己評価
グローバルWiFi事業	<ul style="list-style-type: none"> ・リピート利用、新規獲得ともにレンタル件数増加→強化（グローバルWiFi for Biz（置きっぱなしWiFi）拡販＝法人顧客の取り込み強化、パートナー（旅行会社、航空会社等）との連携） ・通信原価低減、オペレーションコスト削減→強化（自動化含め更に積極的に展開） ・AI、RPA、IoT活用による利便性向上→継続 ・売上、利益とも過去最高値を継続更新→継続 	○
情報通信サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハルエネでんき」加入取次順調に推移（クロスセリング）→継続 ・新入社員の育成・教育を担いつつ売上、利益とも増加→継続 ・自社サービスの開発・販売→継続 ・企業文化、ビジネスモデルによる高い生産性→強化 	○
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイヤーシェアリングサービス事業（ProDrivers）開始→早期収益化へ ・新規事業の探索・育成→継続 	△

2019年12月期の見通し

今期業績予想

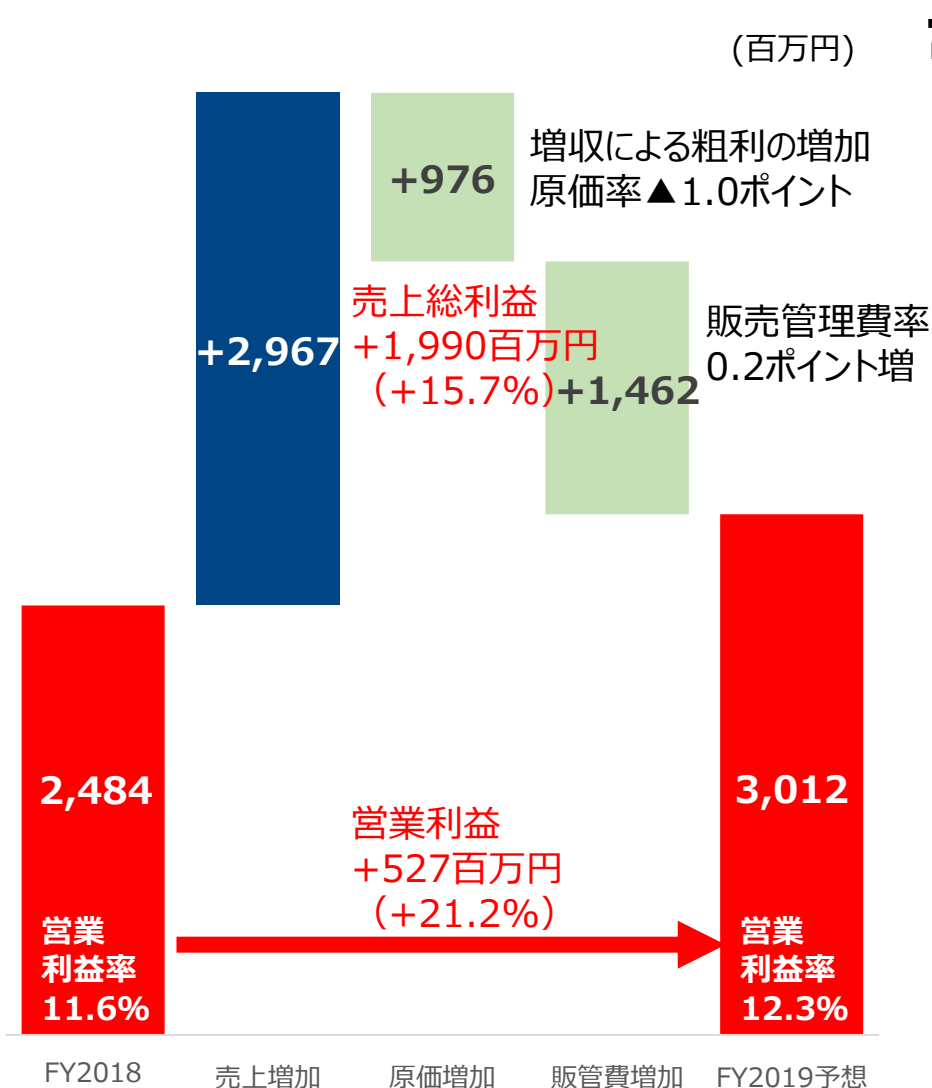


売上高：前年同期比**13.8%増**、営業利益：前年同期比**21.2%増**。

(百万円、%)

科目	2019年12月期予想		増減	
	金額	構成比	金額	増減率
売上高	24,470	100.0	+2,967	+13.8
FY2018実績	21,503	100.0	+3,948	+22.5
売上総利益	14,640	59.8	+1,990	+15.7
FY2018実績	12,650	58.8	+2,489	+24.5
営業利益	3,012	12.3	+527	+21.2
FY2018実績	2,484	11.6	+695	+38.9
経常利益	3,013	12.3	+514	+20.6
FY2018実績	2,499	11.6	+704	+39.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,003	8.2	+474	+31.0
FY2018実績	1,529	7.1	+320	+26.5

営業利益増加要因 (2018年 vs 2019年)



営業利益率12.3% (0.8ポイント上昇)

- グローバルWiFi事業：
 - 継続した利便性及び生産性の向上
 - ・ 法人顧客の取り組み
 - グローバルWiFi for Biz (置きっぱなしWiFi) 拡販
 - パートナー (旅行会社、航空会社等) との連携強化、販路拡大
 - ・ 回線調達コストの低廉化
 - ・ クラウドWiFi活用の促進
 - ・ オペレーションコスト等の削減
 - AI・RPA活用FAQ、チャットボット対応等での業務自動化
 - 受渡し省力化 (「グローバルWiFi for Biz」、自動受け取りロッカー「スマートピックアップ」増設等)
- 情報通信サービス事業：
 - 収益性の高いサービス強化と共に、アップセル／クロスセル戦略により増収増益。
- その他：
 - ハイヤーシェアリングサービス事業 (ProDrivers) の構築、先行投資 (人件費等)、早期収益化への取り組み

セグメント業績予想

- グローバルWiFi事業 : 売上高**15.3%増**、セグメント利益**10.3%増**。
- 情報通信サービス事業 : 売上高 **3.4%増**、セグメント利益**16.7%増**。

(百万円、%)

	2019年12月期 予想	2018年12月期 実績	増減		
	金額	金額	金額	増減率	
売上高	グローバルWiFi事業	15,579	13,505	+2,073	+15.3
	情報通信サービス事業	8,036	7,775	+261	+3.4
	報告セグメント計	23,615	21,281	+2,334	+11.0
	その他	855	231	+624	+270.2
	調整額	—	△8	+8	+100.0
	合計（連結）	24,470	21,503	+2,967	+13.8
セグメント 利益	グローバルWiFi事業	2,662	2,413	+248	+10.3
	情報通信サービス事業	1,422	1,218	+203	+16.7
	報告セグメント計	4,085	3,632	+452	+12.4
	その他	62	△194	+257	+132.4
	調整額	△1,135	△954	△181	△19.0
	合計（連結）	3,012	2,484	+527	+21.2

通期業績見通し（四半期別推移）



(百万円、%)

		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2016年12月期	売上高	3,487	3,465	4,083	3,807	14,843
	構成比（対通期）	23.5	23.3	27.5	25.7	—
	営業利益	313	245	517	214	1,290
	構成比（対通期）	24.3	19.0	40.1	16.6	—
	営業利益率	9.0	7.1	12.7	5.6	8.7
2017年12月期	売上高	4,326	4,024	4,827	4,377	17,554
	構成比（対通期）	24.6	22.9	27.5	24.9	—
	営業利益	513	336	688	249	1,788
	構成比（対通期）	28.7	18.8	38.5	13.9	—
	営業利益率	11.9	8.4	14.3	5.7	10.2
2018年12月期	売上高	4,922	4,933	5,961	5,686	21,503
	構成比（対通期予想）	22.9	22.9	27.7	26.4	—
	営業利益	736	499	900	347	2,484
	構成比（対通期予想）	29.6	20.1	36.2	14.0	—
	営業利益率	15.0	10.1	15.1	6.1	11.6
2019年12月期	売上高		11,614		12,855	24,470
	構成比（対通期予想）		47.5		52.5	—
	営業利益		1,437		1,574	3,012
	構成比（対通期予想）		47.7		52.3	—
	営業利益率		12.4		12.2	12.3

- クラウド上でSIMを管理する次世代型の通信技術搭載Wi-Fiルーター。
 - SIMの挿入・交換作業不要。
 - 1台で世界中の通信回線の利用が可能。
- 全出荷レンタル端末中 約88%まで増加。

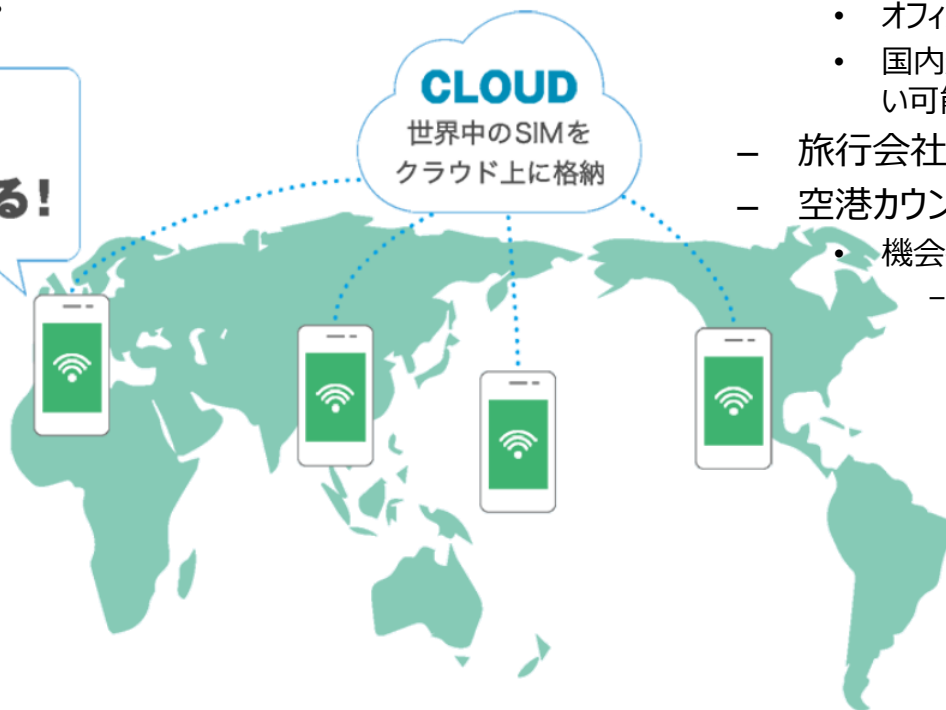
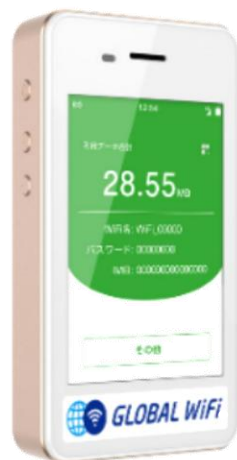
(2017年12月：約51%⇒2018年12月：約88%)

※自社契約のSIMを活用した差別化。

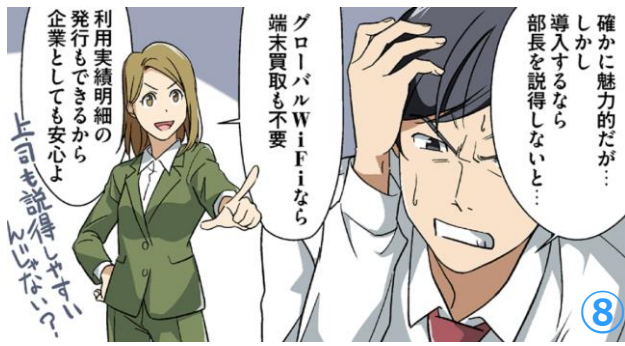
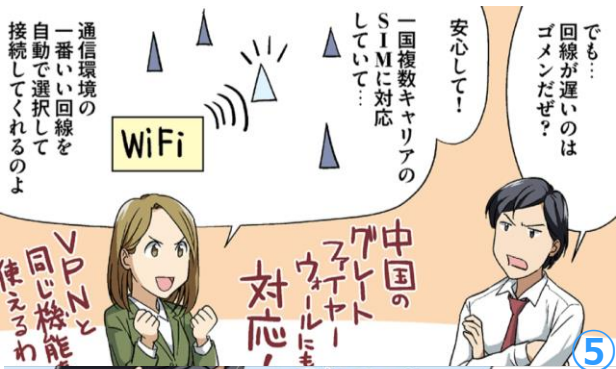
※通信キャリアによっては対応できない国もあり約90%前後が上限。

- 活用効果：
 - 通信にかかる原価率低減（通信回線利用効率向上）
 - 出荷・運営オペレーション省力化（販売管理費低減）
 - 活用サービス・新手法（収益向上）
- 活用サービス・新手法：
 - 「グローバルWiFi for Biz」提供
 - オフィスに常備（都度レンタル手配不要）
 - 国内通信月間3GBまで無料提供（普段使い可能）
 - 旅行会社・海外旅行商品組み込み
 - 空港カウンターの在庫拡充・対応エリア拡大
 - 機会損失最小化
 - 出発当日客へのサービス提供体制（利用件数増加）

電源ONで
すぐに使える!



- 法人ユーザーの継続利用促進 (利便性、満足度向上)
- オペレーションコスト削減



自動受渡しロッカー



SmartPickup
(スマートピックアップ)

セルフレジKIOSK端末 (多言語対応・決済機能)



SmartEntry
(スマートエントリー)

即時お客様識別カウンター (QRコード活用受付カウンター)



接客時

待機時



SmartCheck
(スマートチェック)

待ち時間短縮

混雑緩和

利便性向上

CS向上

売上増

レンタル件数（受渡件数）、オプションサービス（補償サービス、付帯品等）の増加への対応や、海外へ渡航する日本人・訪日外国人旅行者にとって、より便利に、より快適で、より安心でお客様それぞれのニーズに対応する店舗へ進化。

空港カウンターおよびスマートピックアップ (SmartPickup)

- 国内15の空港カウンター、内主要5空港（18機）自動受渡しロッカー設置済。
- 新規出店、移転、増設等（2017年12月8機⇒18機）ユーザータッチポイントの強化。
- サービスレベルをお客様に応じて最適化。
 - 説明が不要なお客様（リピーター層等）へは徹底的に待ち時間をなくす。
 - 説明が必要なお客様へは空港スタッフが対応。

★はスマートピックアップ設置空港





各取り組みを連携し、更なる利便性の向上へ

これまで逃していた出発当日客へのサービス提供が可能⇒利用件数増加。
※空港カウンター店舗目の前でのWEB申込み、データベースとの連携で即時対応可能。

GO BEYOND.



志を持ち、軽々と壁を越えていく人だけが、未来を晴らすことができる。
当社では、その思いから、グローバルWiFiの各種サービスを提供しています。
そこで私たちは、ご自身の取り組んでいる活動において、国境を越え、制約を超え、新たな確信と成長を目指す個人・団体を応援します。
当社が認定した“GO-BEYONDER”の方々に、グローバルWiFiの提供を通じて、活動の支援を行っております。

“GO-BEYONDER”

○2018年度12月までのGO-BEYONDER認定件数累計 200件

○アスリート、アーティスト、エンターテイナー、レーサー、冒険家、写真家、活動団体 等

CONCEPT <https://global-wifi.com/index.html>

CONCEPT MOVIE <https://global-wifi.com/movie.html>

グローバルWiFiは利用者数



※
No.1

※「2016年海外用レンタルWiFiサービス(国内・海外)」ののべユーザー数、売上高調査(東京商工リサーチ2017年12月28日調べ)

GLOBAL WiFi, Number 1 in Popularity

日本国内 WiFi 使うなら



日本国内
で

WiFi 使うなら

WiFiレンタル
どっどこお

Use it anytime, anywhere



海外用Wi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi®」と、日本国内用Wi-Fiルーターレンタルサービス「WiFiレンタルどっどこお」のCMを、ANA国際線の機内にて放送。

CMストーリー <https://www.youtube.com/watch?v=rO5QAqx9BNA>

○販売チャネル強化

・「ビマケ (Vision Business Market) 」

- <https://vision-bizmarket.com/>
 - 全ての企業のビジネスを全力で応援する「企業のための総合支援サイト」
 - スタートアップ・中小・ベンチャー企業向け。起業準備中の方も広く集客。
 - お役立ち情報と共に、当社サービスおよびタイアップパートナーの商材を案内。



○自社開発サービス販売

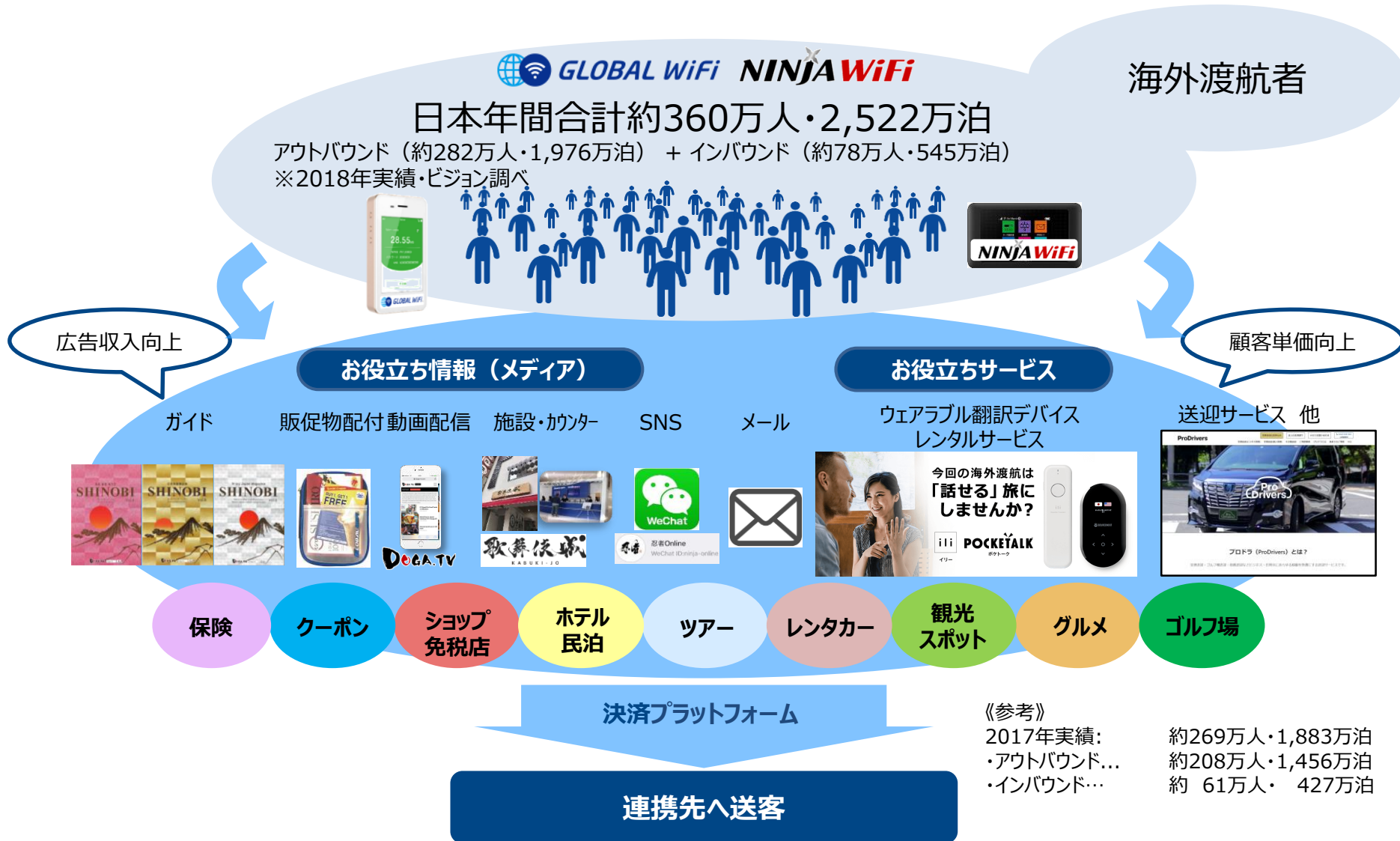
(商品・サービス・ビジネスモデル強化)

・「VWS WEB CALL SYSTEM」

- <https://vws-biz.com/web-call-system/>
 - ビジョンのノウハウを投入して自社開発したクラウド型サービスを販売。
 - 人員の稼働効率を引き上げる機能、営業状況把握機能に優位性あり。
 - 固定費負担が少なく、小規模事業者から導入可能。
 - 「IT導入補助金」対象サービス。
 - 今後もニーズの高いサービスを順次投入。



顧客基盤を活用し、海外渡航中の課題解決に役立つ情報・サービスを提供。



インバウンド広告メディア



動画配信

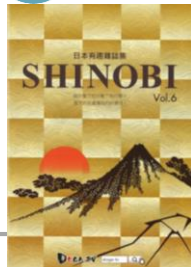
DOGA.TV



・SNS動画投稿・配信



フリーペーパー



- ・人数分手渡し
- ・提携拠点設置
- ・3言語対応
- ・年3回発行
- ・年30万部発行



観光案内所

歌舞伎城
KABUKI-JO

- ・新宿歌舞伎町エリア
- ・体験、イベント



NINJA WiFi
Powered by GLOBAL WiFi



渡航前



入国



入国後
空港カウンター



移動



観光



宿泊



観光



移動



出国前

空港カウンター



出国



メール配信



- ・旅マエのお客様
- ・旅ナカのお客様
- ・過去利用者



同梱チラシ



- ・空港毎に対応
- ・国籍別も対応
- ・時期を選べる



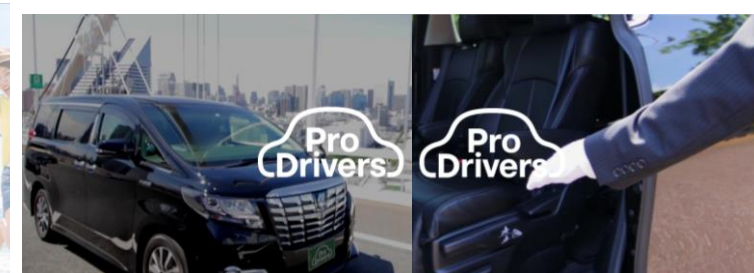
サンプリング



- ・空港毎に対応
- ・国籍別も対応
- ・時期を選べる

活用 (顧客基盤の活用)

- ハイヤーシェアリングサービス事業
- 空港送迎・役員送迎等ビジネス・日常共にあらゆる移動を快適にする送迎サービス。
グローバルWiFi事業の顧客基盤 (訪日外国人旅行客含) の活用。
 - 情報通信サービス事業の顧客、新規需要客もターゲット。
 - 国内：都内から開始。パートナー展開も含め、全国主要都市に順次展開予定。
 - 海外：「SmartRyde」(資本業務提携先DLGB社運営)



Pro Drivers

- ✓ 荷物と一緒に移動
- ✓ 2時間単位で利用可能
- ✓ 最大9人で利用可能
(割り勘でお得)

海外でもプロドラ!

国内の空港送迎だけでなく、海外でもご利用も
プロドラからお取り次ぎを行っています。
事前予約、定額制のSmartRydeをご利用ください。

SmartRyde 



成長戦略について

成長戦略を着実に実行。

- グローバルWiFi事業

顧客基盤・事業基盤の

- 拡大 (市場開拓 = 各ステージの成長、世界展開)
- 拡充 (収益性向上)
- 活用 (ビジネス展開 = 旅行関連サービスプラットフォーム)

- 情報通信サービス事業

- チャネル強化
- 商品・サービス・ビジネスモデル強化





旅行者のお気に入り
「モバイルWi-Fiルーター」
2014/2016連続1位

割安な定額制

コストメリット最大▲89.9%

– 一日300円～国内携帯電話会社定額割引比

最多エリア

業界最多クラス200以上の国と地域をカバー

快適

世界中の通信事業者との提携による高速通信

安全・安心

セキュア 24時間365日 世界47の拠点

カウンター

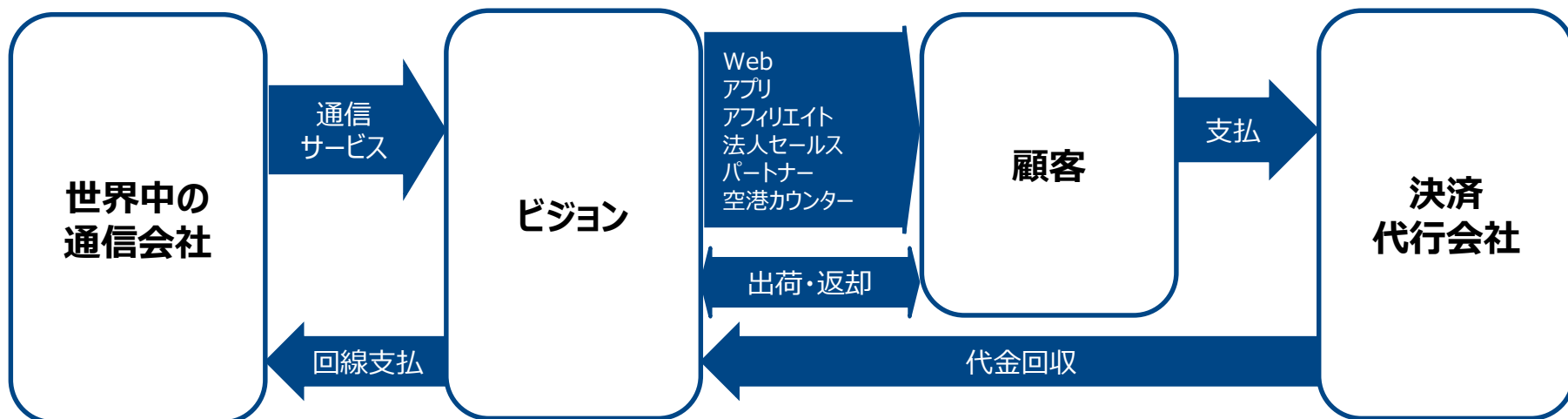
業界最多クラスの空港カウンター設置拠点数

法人営業力

法人需要の取り込み力

顧客数

利用者数シェアナンバーワン



海外渡航先インターネット接続手段比較

- 「グローバルWiFi®」「NINJA WiFi®」が、安心・安全・快適・安価で優位。
- 個人旅行者に限らず、ビジネスユースにとっても大きな利用メリット。
- 海外でも、アジアを中心にWi-Fiルーターの利便性の認知が向上。

※ビジョン調査、基準にて作成。

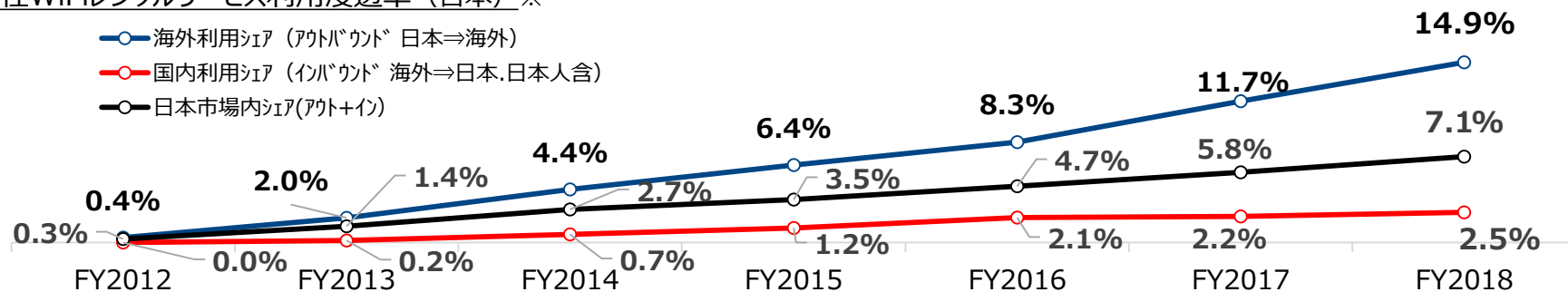
接続方法	価格	利用範囲	通信速度	管理	セキュリティ
 <small>Powered by GLOBAL WiFi</small>	○	○	○	○	○
現地の高品質回線を提携の上調達。現地 最速 。 安心価格 。 安全 。 簡単 。					
国際ローミング (海外パケット定額)	×	△	△	○	○
料金、品質面で課題あり。(一日1,980円~2,980円と高額。更に高額請求となる場合あり。)					
プリペイドSIM (現地調達)	△	△	○	×	○
知識が必要。手間がかかる。(現地購入、容量に課題、定期的にチャージが必要等)					
フリーWi-Fiスポット	○	×	△	○	×
場所が限定。施設回線や接続人数により速度が遅いことがある。セキュリティに不安。					

科目	概要
売上	<p>① 1日あたりのレンタル料金×利用日数 ※平均：1日1,000円、平均利用日数：7日間 ※保障サービス、モバイルバッテリー等のオプション</p> <p>②月額基本料金（1,970円）+データ利用料金（プラン） ×利用日数</p>
売上原価	<ul style="list-style-type: none"> ・通信料（世界各国の通信キャリア） ・端末代金（モバイルWi-Fiルーター） ※レンタル資産計上（2年間の減価償却により計上） ・外注費（代理店等への支払手数料） 等
販売管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 ・広告宣伝費 ・出荷センター、空港カウンター、カスタマーセンター等の運営および地代家賃 ・その他販売管理費 等

グローバルWiFi事業 成長ストーリー

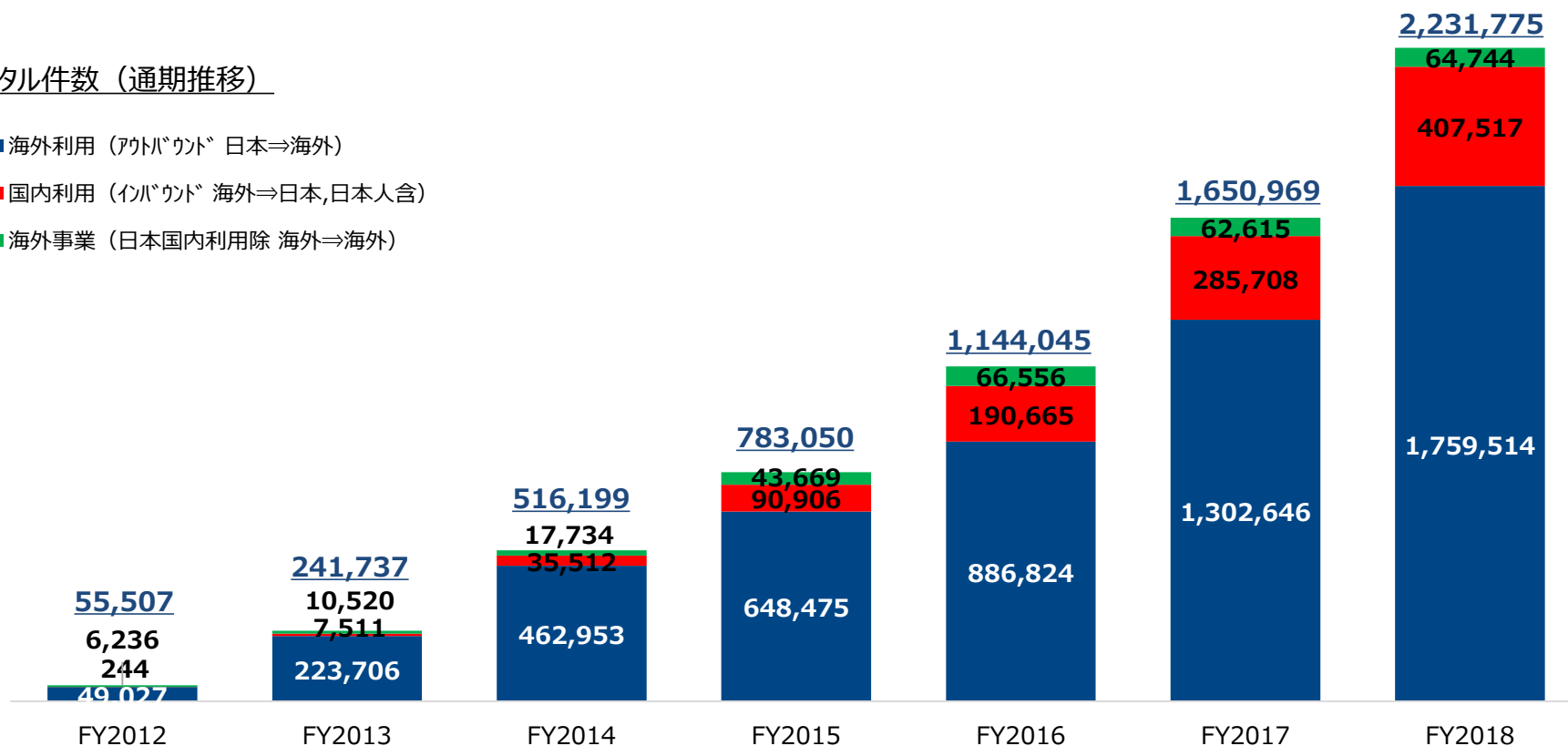


当社WiFiレンタルサービス利用浸透率（日本）※



レンタル件数（通期推移）

- 海外利用（アウト）日本⇒海外
- 国内利用（イン）海外⇒日本,日本人含
- 海外事業（日本国内利用除 海外⇒海外）



※日本政府観光局報道発表資料、当社調査により作成

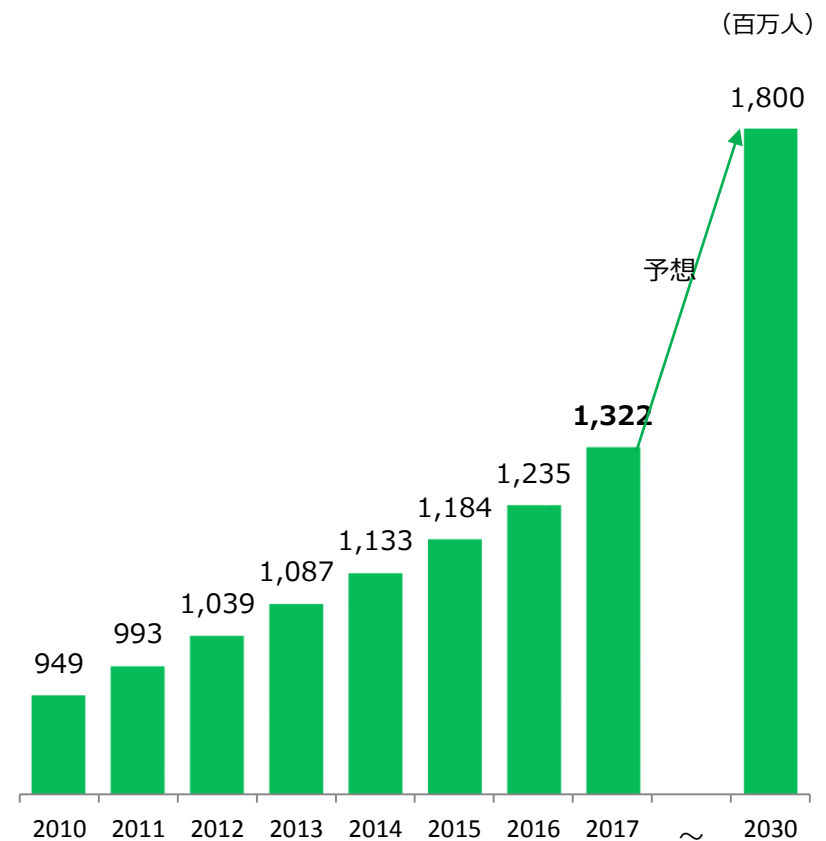
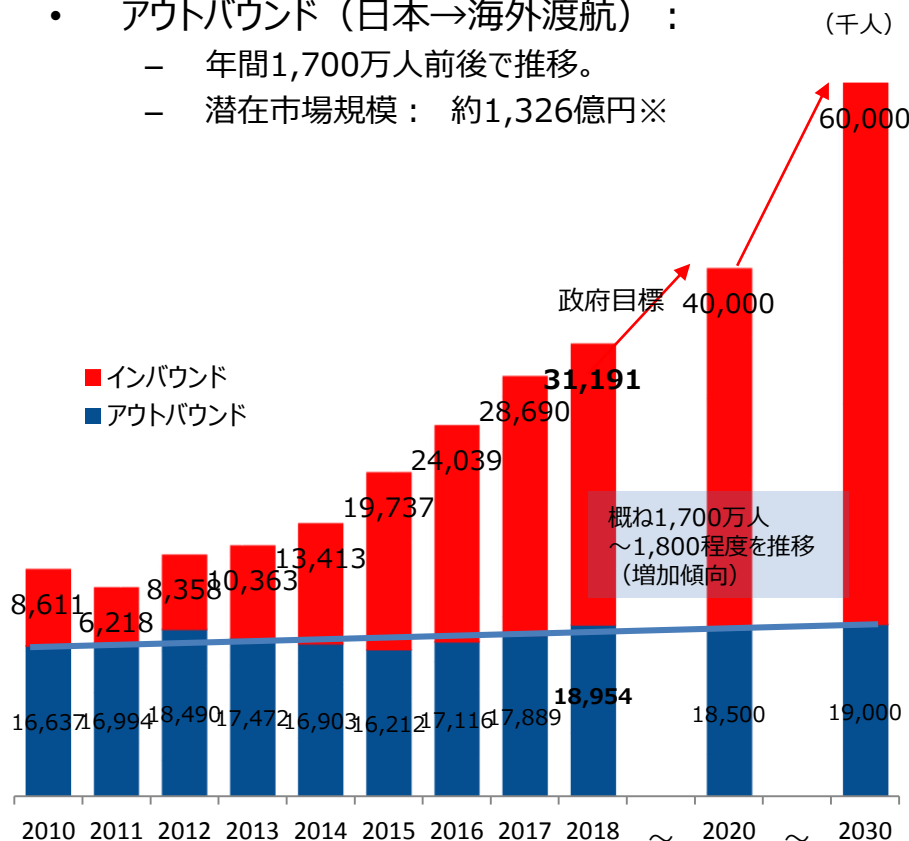
<参考> グローバルWiFi事業 市場規模



- インバウンド（訪日外国人旅行者）：
 - 年間3,119万人超。*2018年実績
 - 潜在市場規模：約2,183億円※
 - 政府目標：
 - 2020年 年間4,000万人
 - 2030年 年間6,000万人

- 世界の海外渡航者（国際観光客到着数）：
 - 海外から海外へのグローバル渡航者は、13億人超の巨大市場。
 - 潜在市場規模：約9兆円超※

- アウトバウンド（日本→海外渡航）：
 - 年間1,700万人前後で推移。
 - 潜在市場規模：約1,326億円※



日本政府観光局（JNTO）資料、2016年3月「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」、平成29年版観光白書、国連世界観光機関（UNWTO）公表資料より当社作成
 ※ビジョン顧客単価水準から試算



スタートアップ

年間国内で新規設立される法人の約 6 ~ 7 社に 1 社※と取引がある強み
全国法人登記件数... 118,811社 (2017年) 出典：法務省

Web戦略

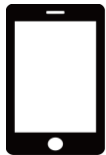
独自のWebマーケティング (インターネットメディア戦略) による集客力

カスタマーロイヤリティ

独自ノウハウのCRM (顧客関係・取引継続) 戦略
継続的収益の最大化 = ストックビジネス
高生産性追加販売 (アップセル/クロスセル)



固定通信
ビジネス
フォン



モバイル



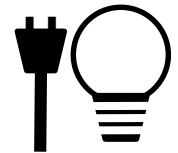
OA



ホームページ



セキュリティ



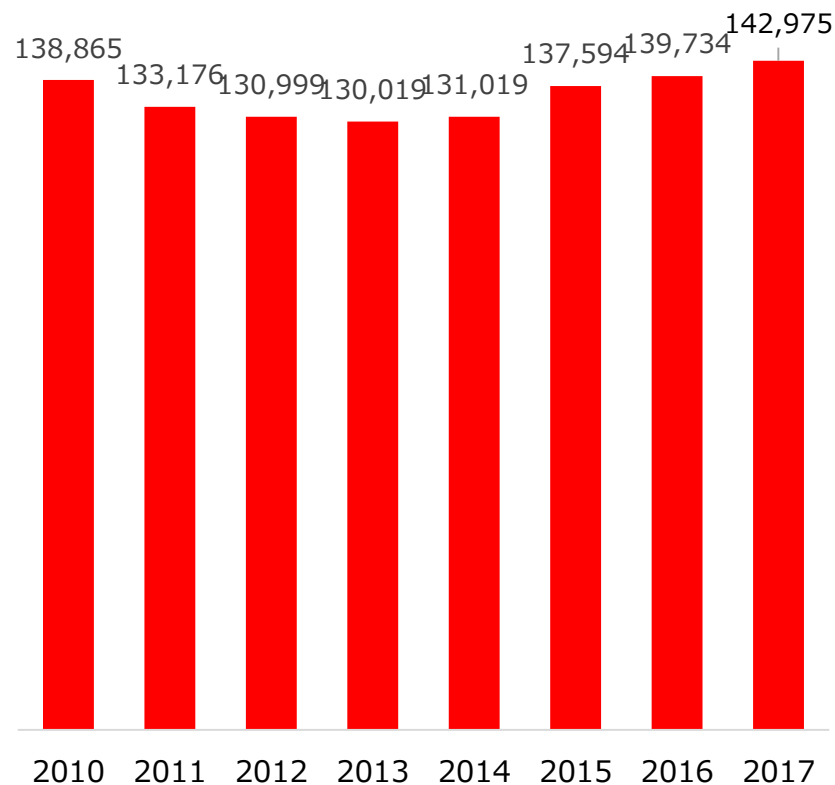
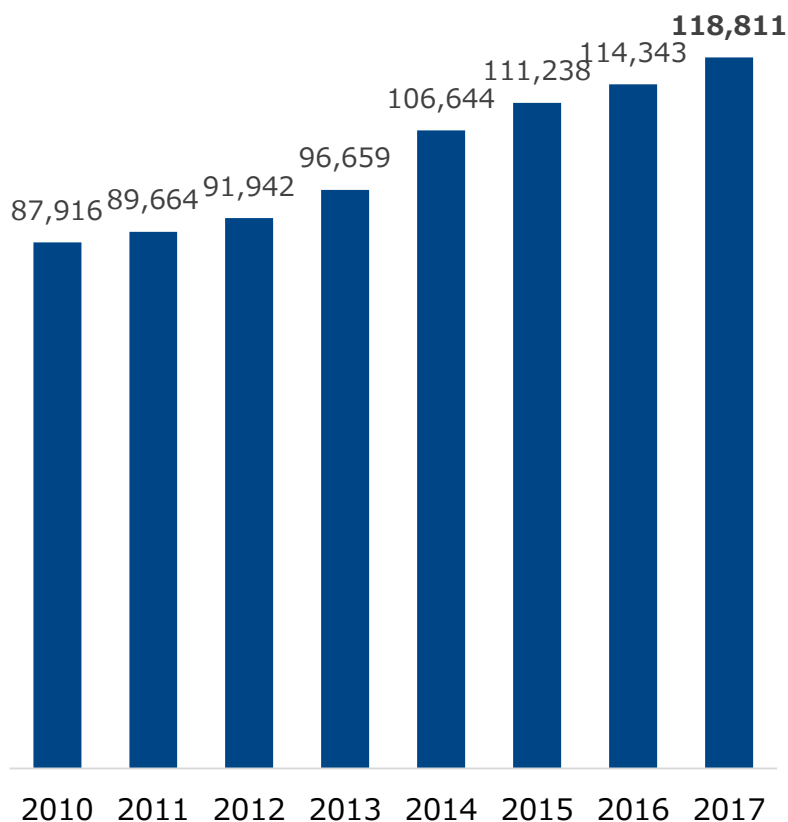
電力

※当社と新規取引を開始した設立後6ヶ月以内の企業 (個人事業主含む) 合計 (当社調べ)
取り扱いサービスおよび商品の変動により獲得数は変動いたします。

科目	概要	
	固定通信、モバイル、電力	OA機器（複合機、ビジネスフォン）、ホームページ、セキュリティ
売上	<ul style="list-style-type: none"> ・業務受託手数料（取次手数料） ・継続手数料（顧客利用状況に応じ） ※通信キャリア、一次代理店より入金 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売代金 ※リース会社、クレジット会社より入金 ・保守費用 ※メーカーより入金およびファクタリング（ホームページ保守）
売上原価	<ul style="list-style-type: none"> ・端末代金（携帯電話） ※固定通信、電力は売上原価なし ※通信キャリア、一次代理店へ支払 ・外注費（代理店等への支払手数料）等 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器代金（OA機器、セキュリティ） ※メーカーへ支払 ・外注費（代理店等への支払手数料）等
販売管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費 ・広告宣伝費（WEBサイト等） ・コールセンター等地代家賃 ・その他販売管理費 等 	

- 設立登記数（総数）：118,811件
 - 年間約11万社。（政府による積極的な創業・企業支援により継続した増加傾向）
 - 15年の実績を持つWebマーケティングのノウハウを活用した集客。
 - 川上戦略。
- 本店支店の移転登記数（総数）：142,975件
 - 年間約14万社。（登記申請の必要のない事業所等の移転数除く）
 - 追加および移転時の変更手続き等をカバー
 - カスタマー・ロイヤリティ・チーム（CLT）の高度なオペレーションによるクロス・アップセリング

(件)

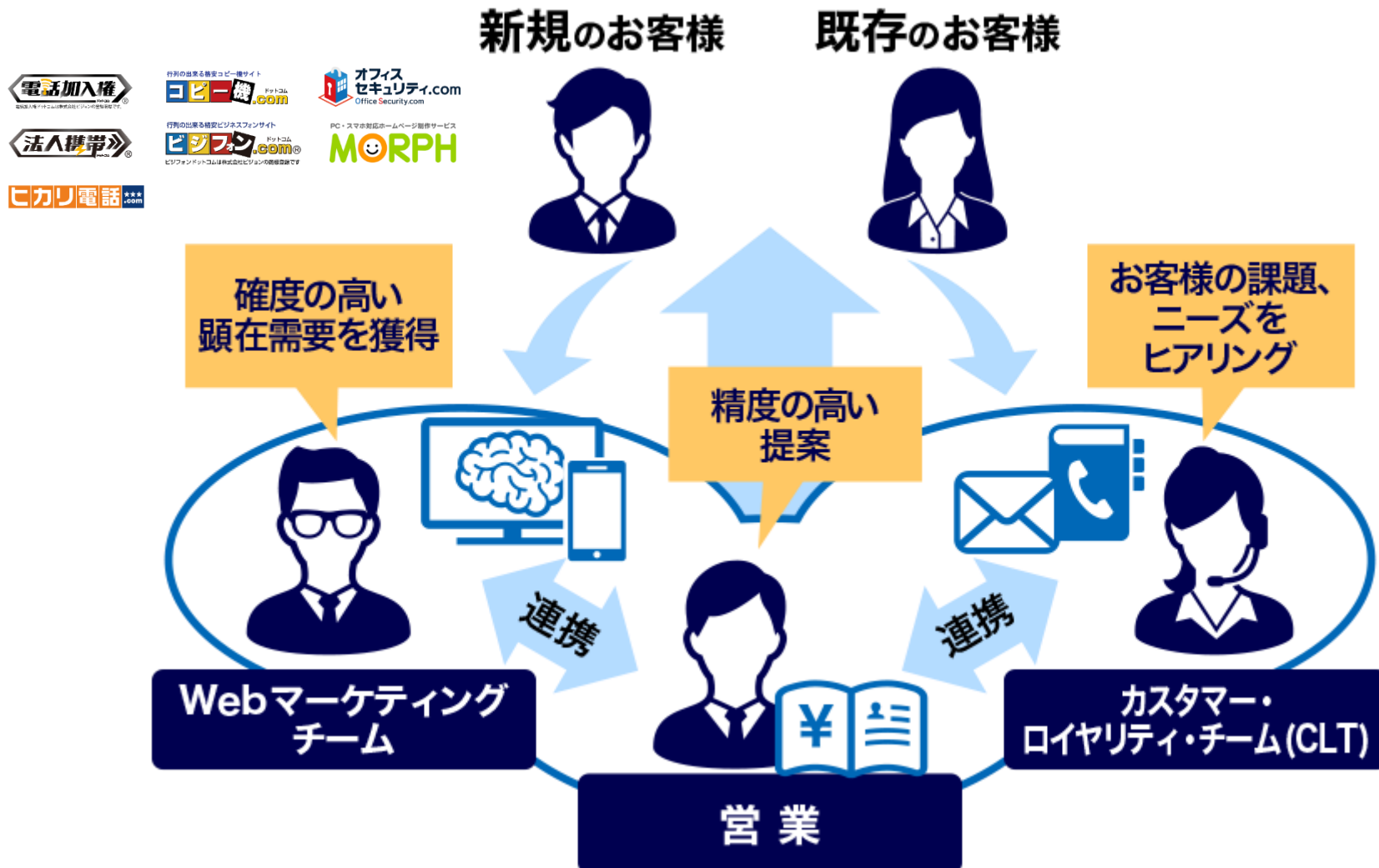


- 高度なオペレーションで価値を創出する
カスタマー・ロイヤリティ・チーム (CLT)

**納入手続きからアフターフォローまで
幅広い業務をカバー**



○Webマーケティング×営業×CLT 三位一体の“高効率”マーケティング

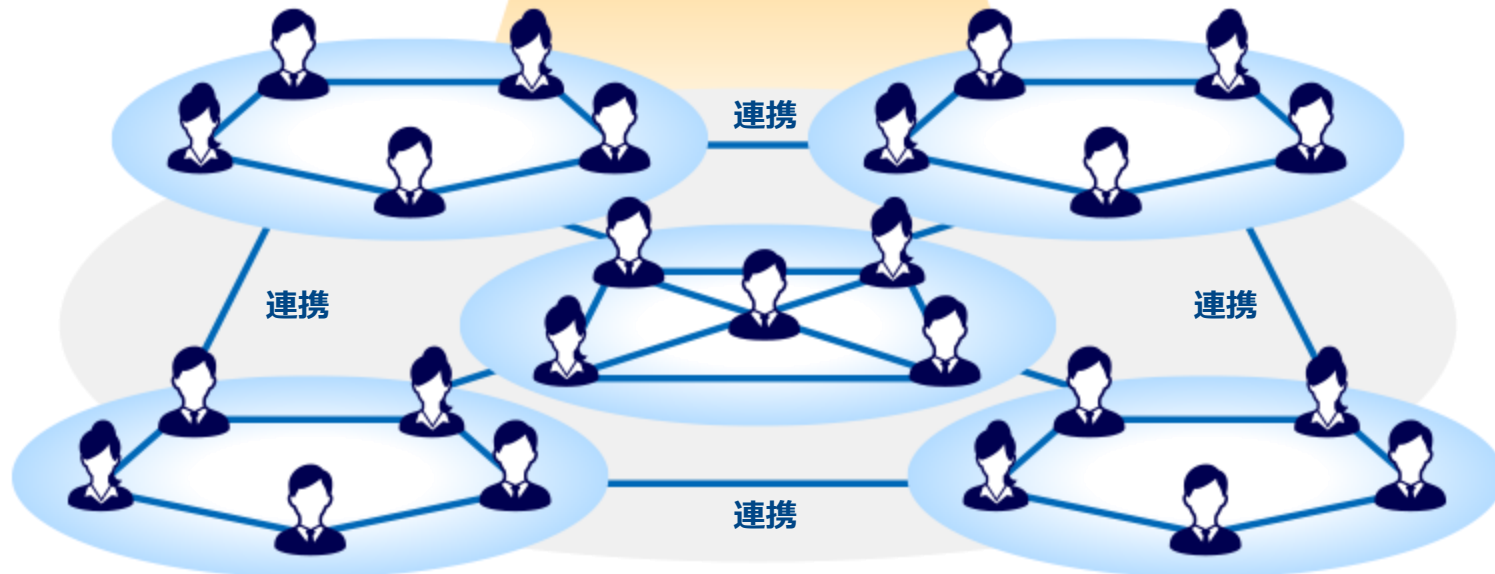


○たゆまぬ進化を生み出す組織カルチャー

事業部間連携 (エスカレーション) が生み出す高い生産性

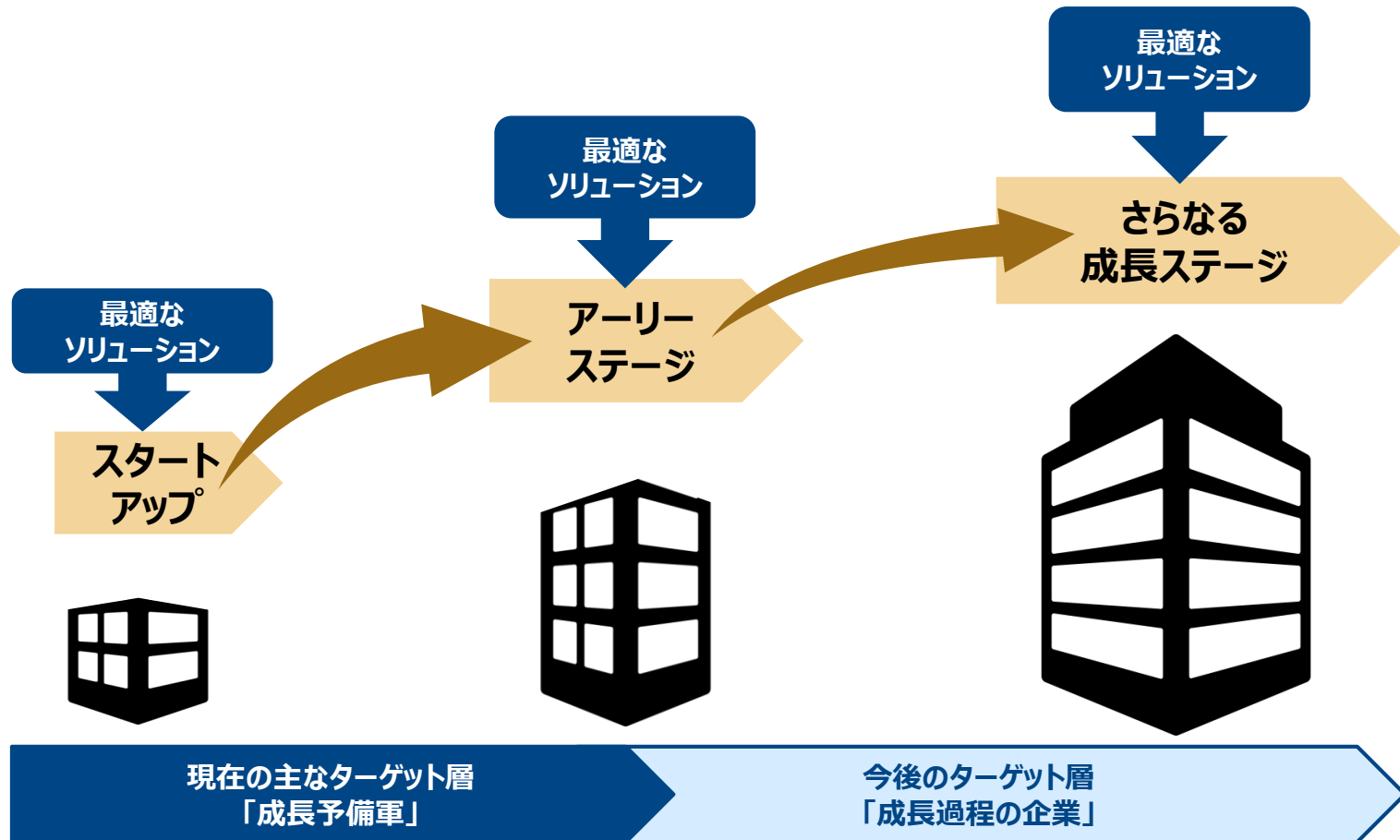


フラットで風通しの良い風土と社内連携を促進する「エスカレーション制度」で生産性向上



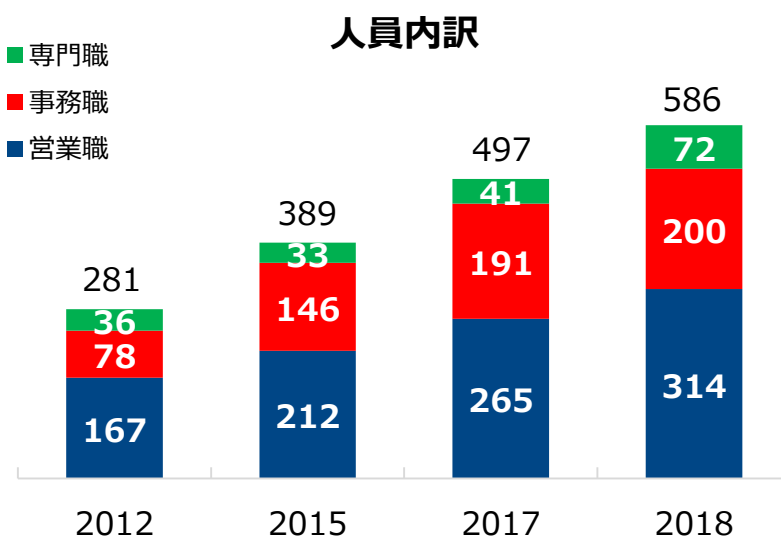
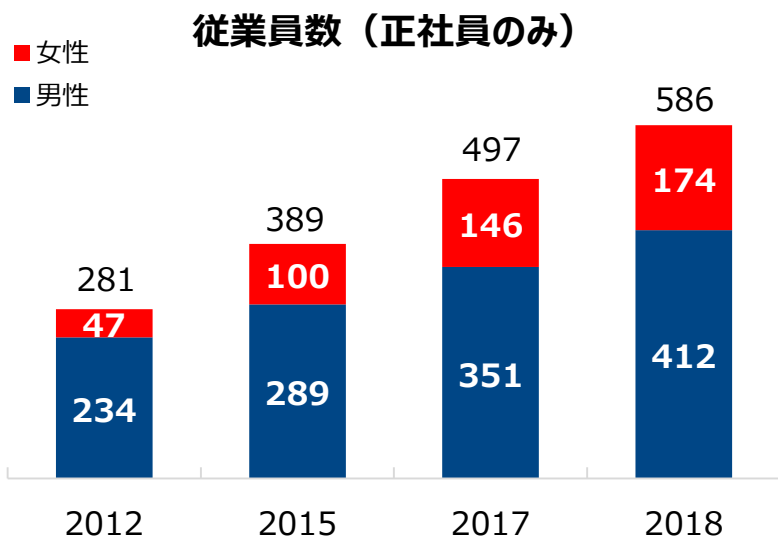
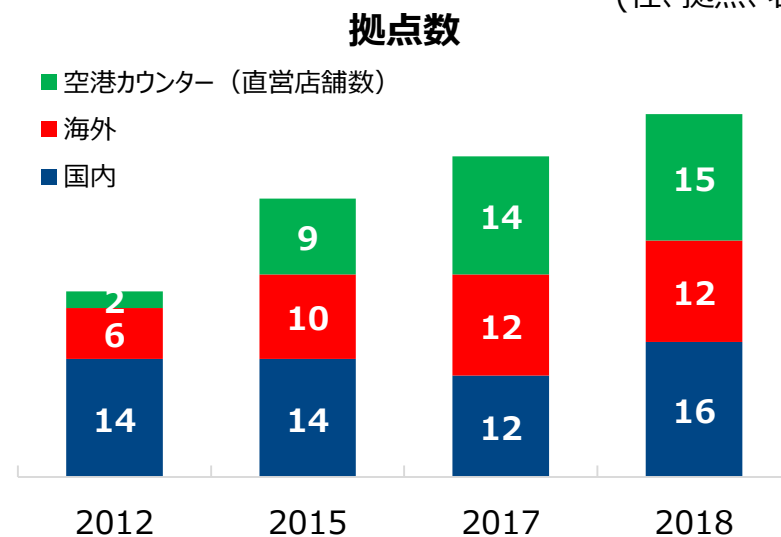
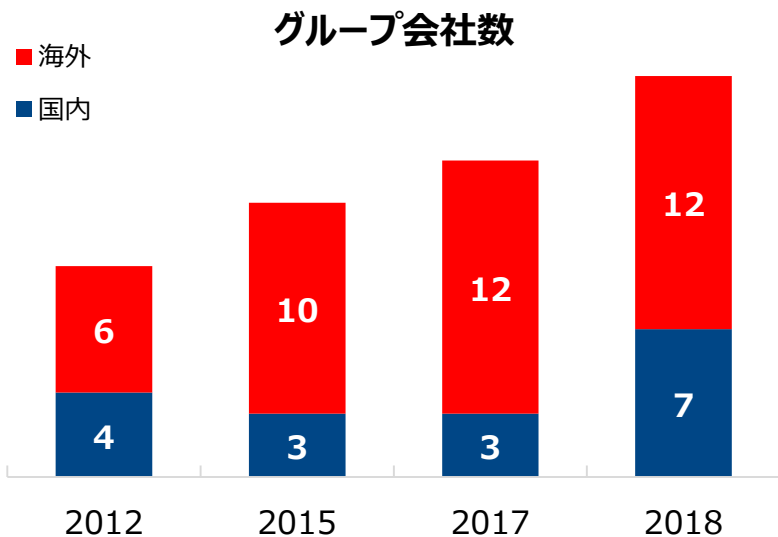
○ストック型ビジネスモデル

- 顧客企業の成長に寄り添い続け、成長ステージに応じた最適なソリューションを提供。
- 独自ノウハウのCRM（顧客関係・継続取引）により、利益が積み上がっていく構造。

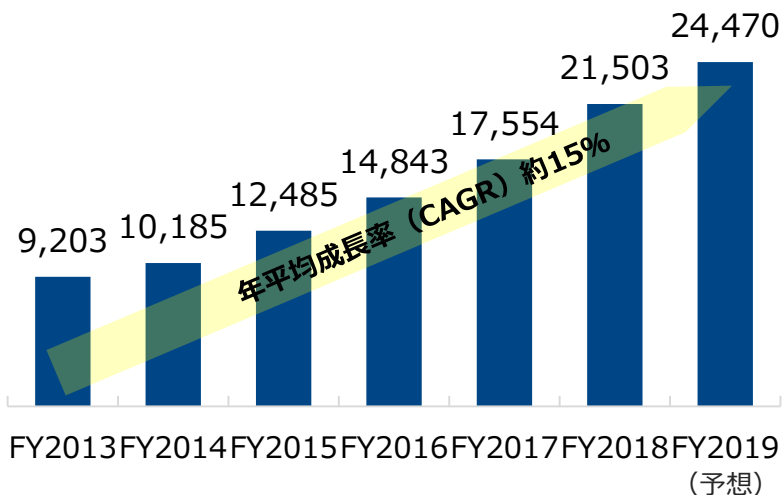


APPENDIX

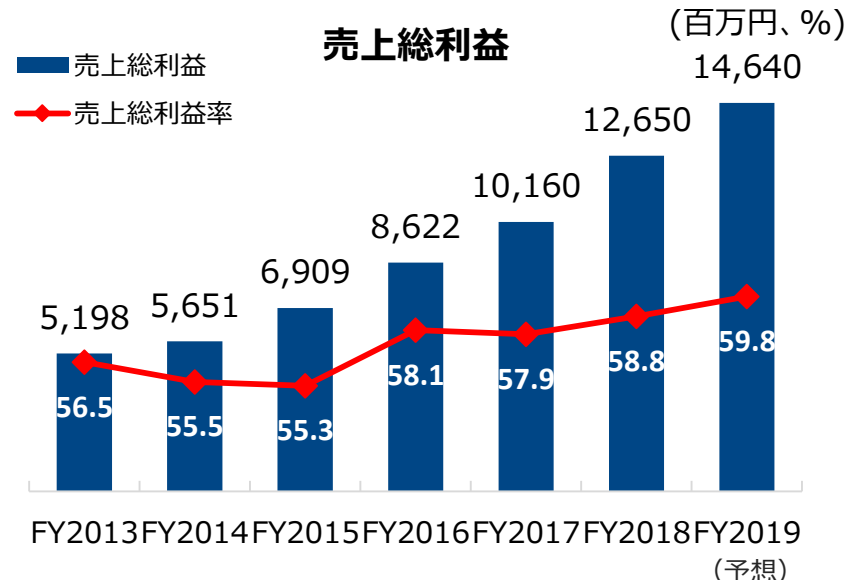
(社、拠点、名)



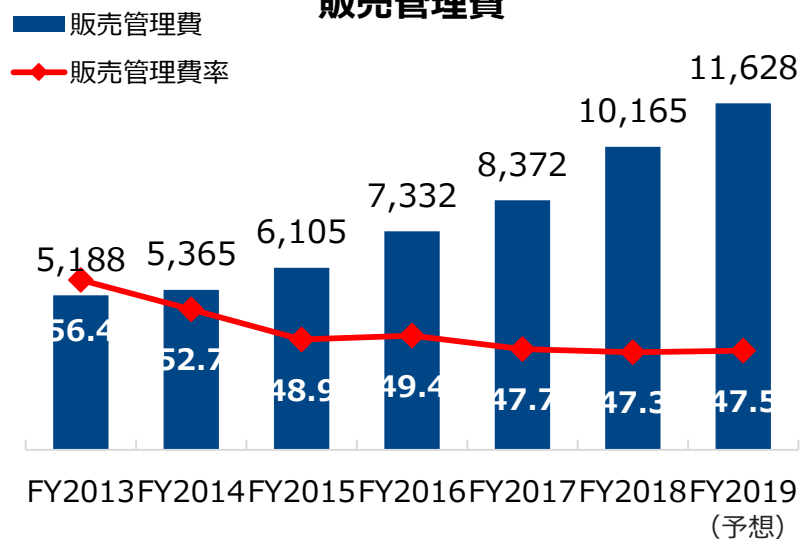
売上高



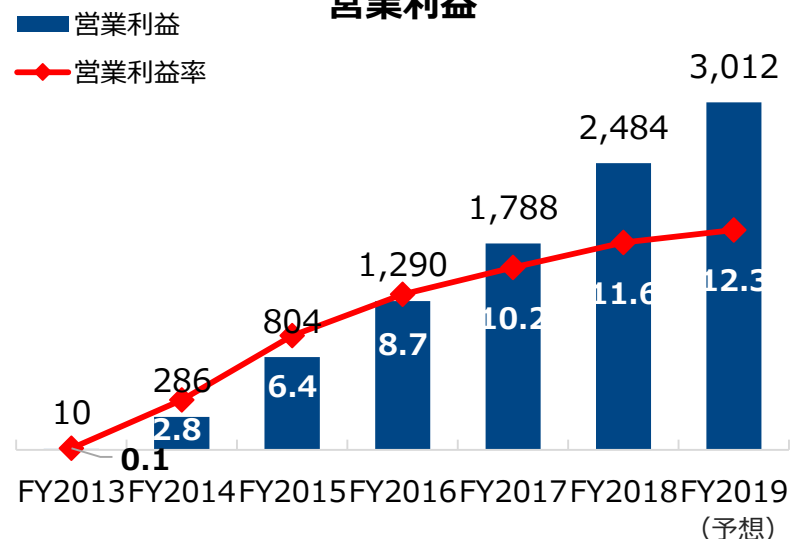
売上総利益



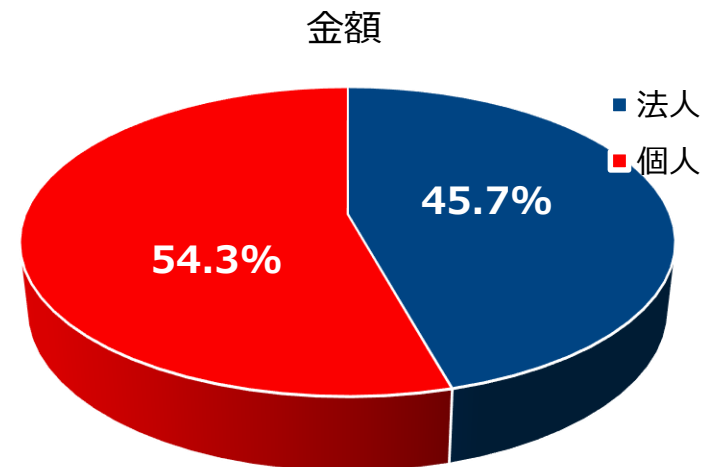
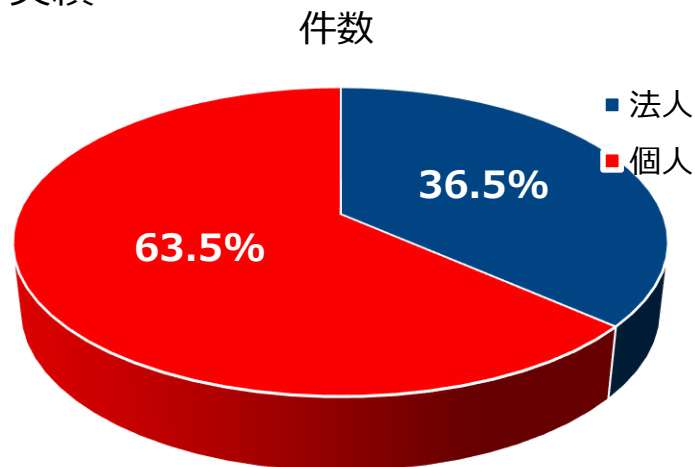
販売管理費



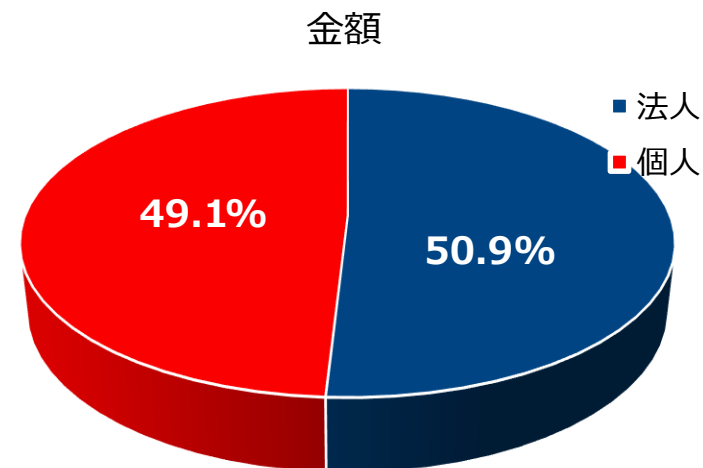
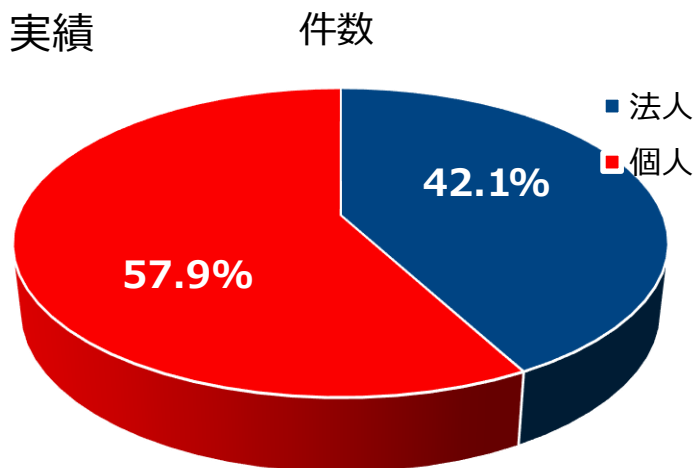
営業利益



2018年12月期4Q※会計期間
(10月～12月) 実績

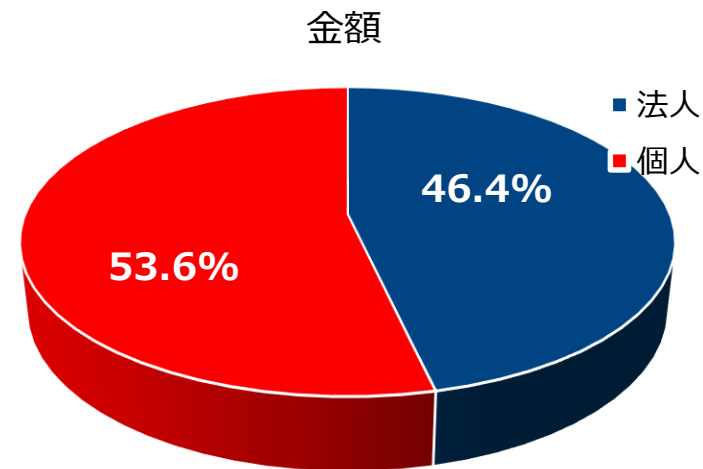
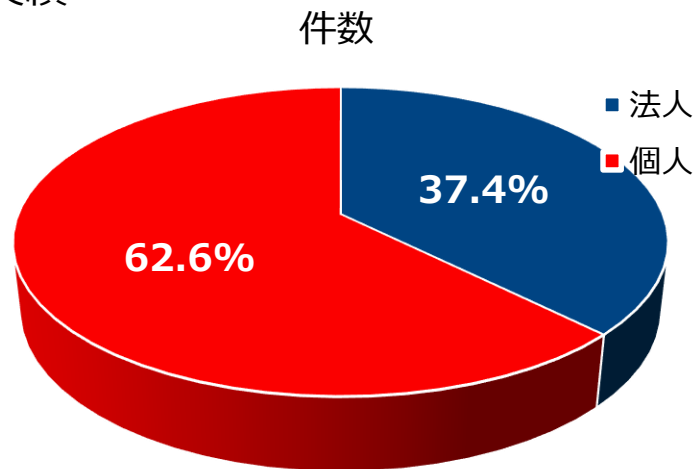


2017年12月期4Q※会計期間
(10月～12月) 実績

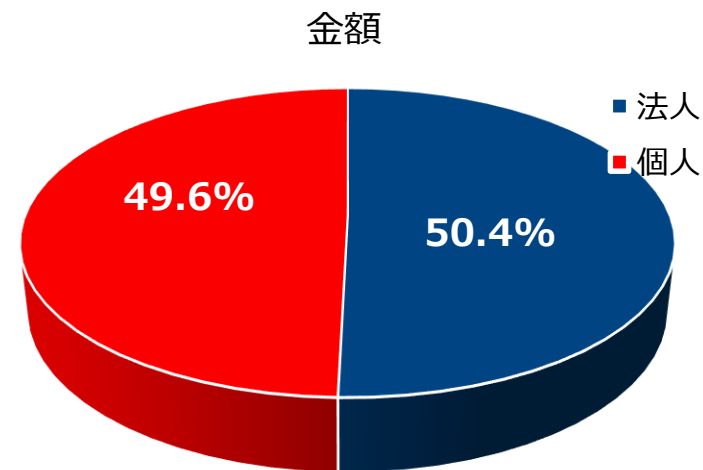
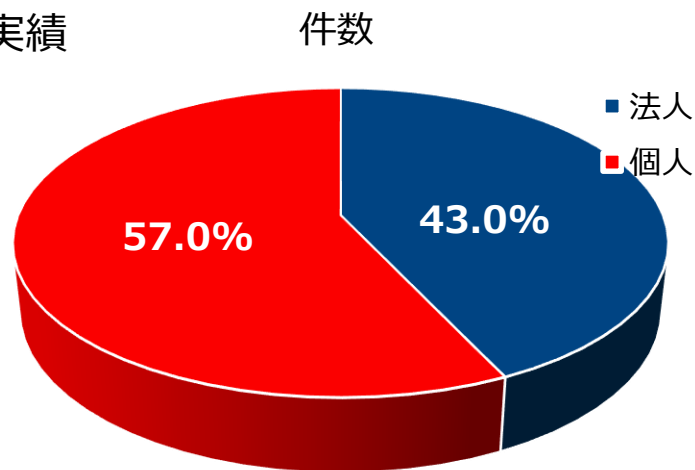


※海外利用（アウトバウンド 日本⇒海外）の比率となっております。

2018年12月期※累計期間
(1月～12月) 実績

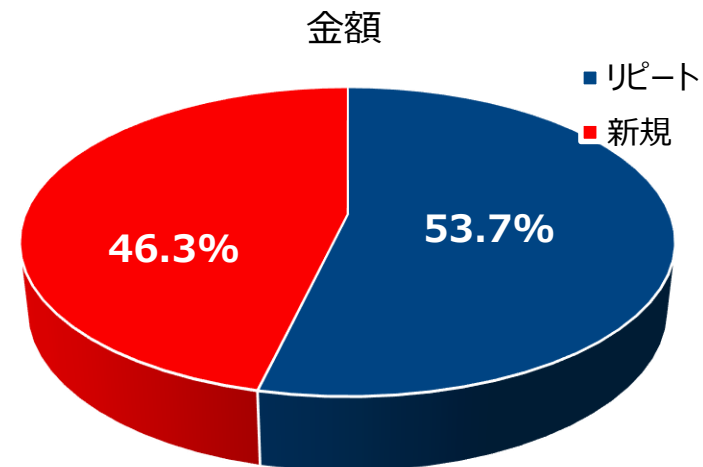
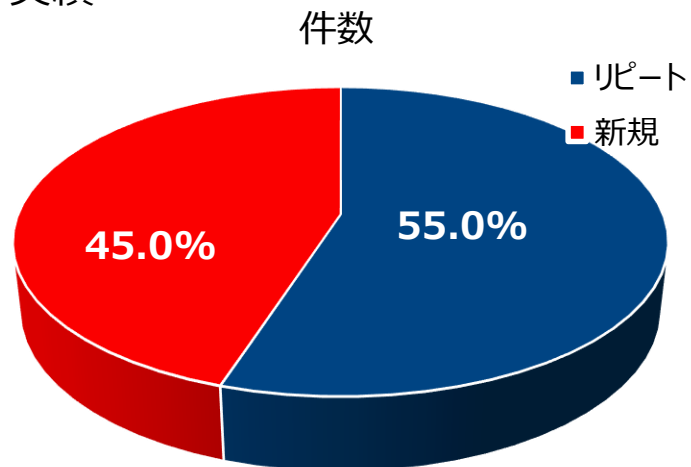


2017年12月期※累計期間
(1月～12月) 実績

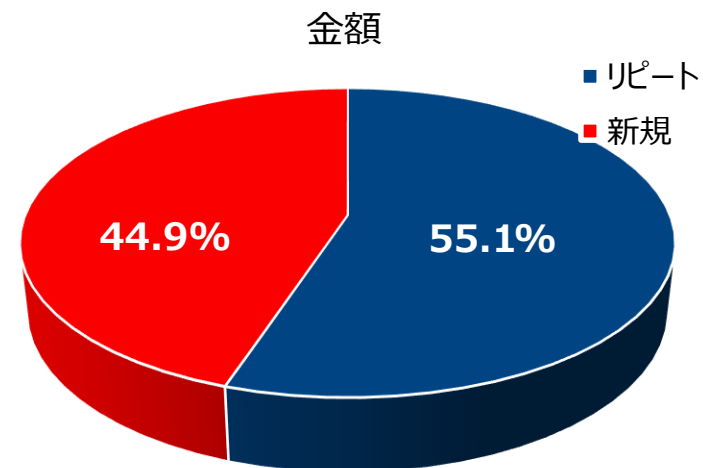
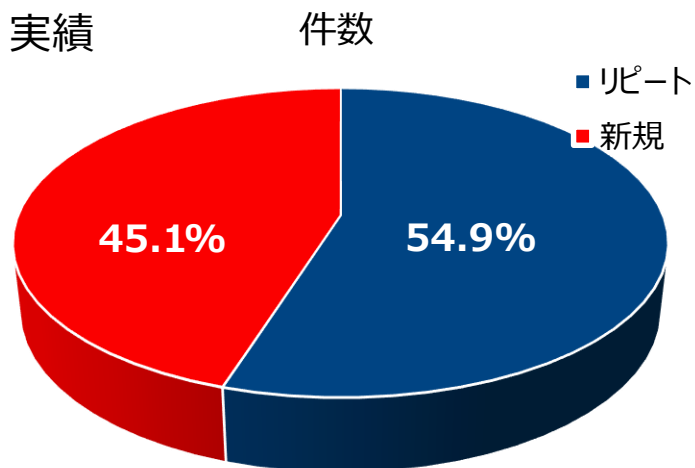


※海外利用（アウトバウンド：日本⇒海外）の比率となっております。

2018年12月期4Q※会計期間
(10月～12月) 実績

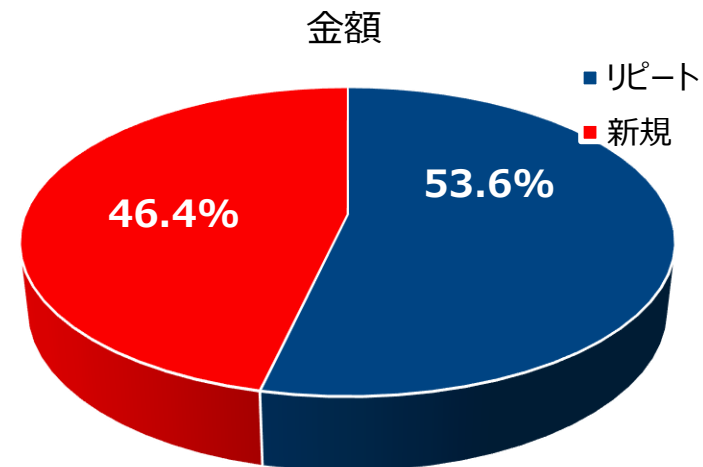
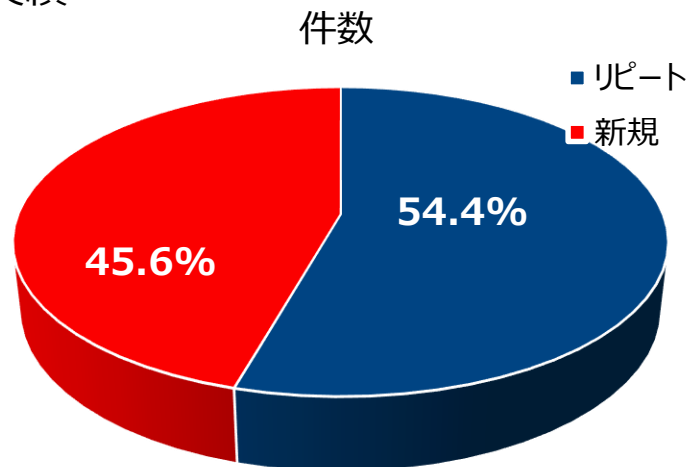


2017年12月期4Q※会計期間
(10月～12月) 実績

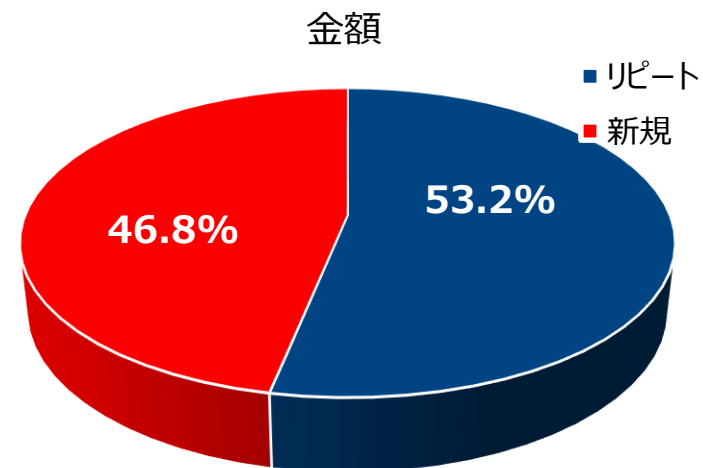
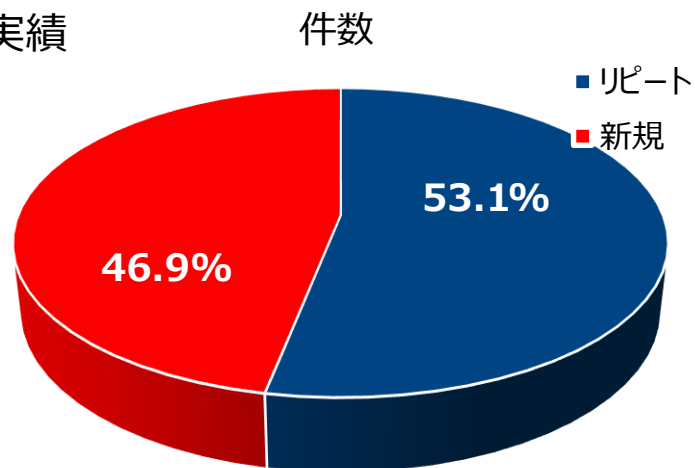


※海外利用（アウトバウンド：日本⇒海外）の比率となっております。

2018年12月期※累計期間
(1月～12月) 実績

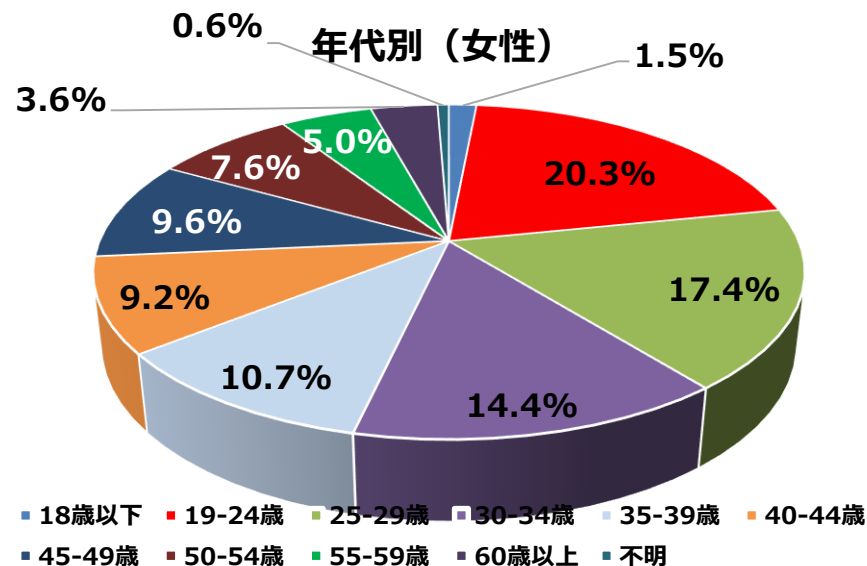
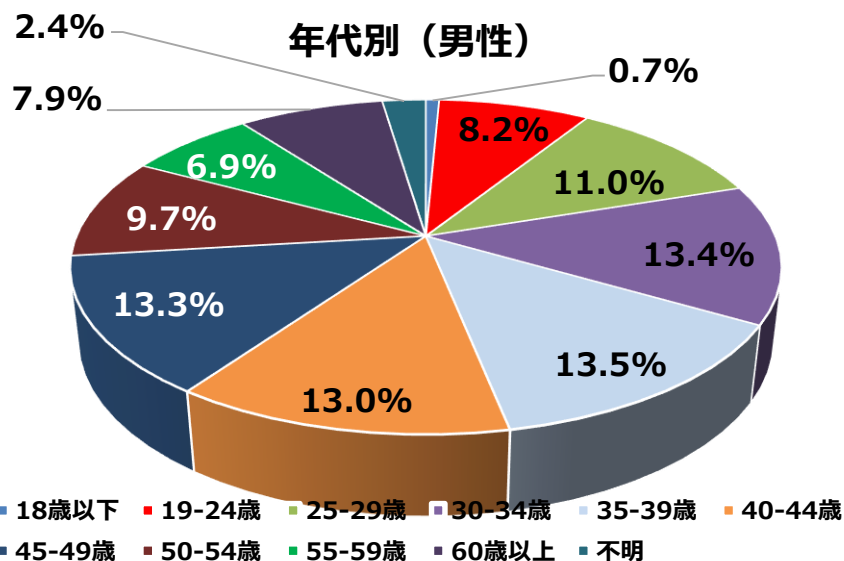
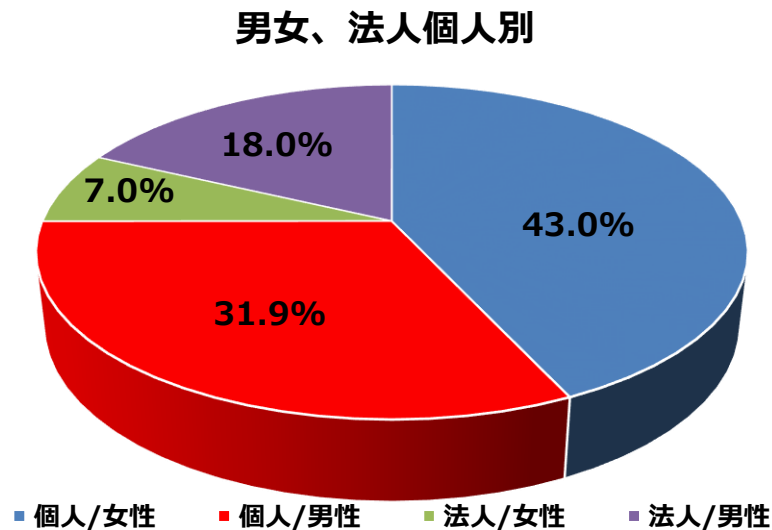
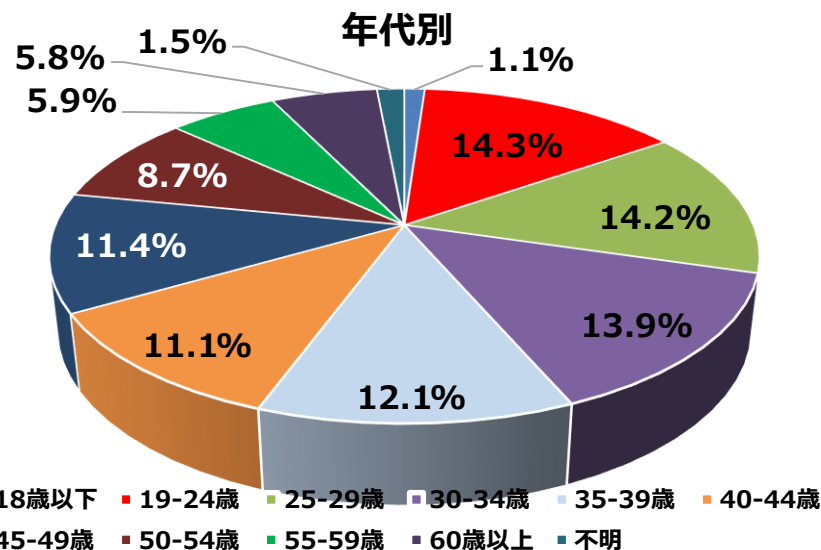


2017年12月期※累計期間
(1月～12月) 実績



※海外利用（アウトバウンド 日本⇒海外）の比率となっております。

グローバルWiFi事業 顧客属性 (男女/年代・過去累計)

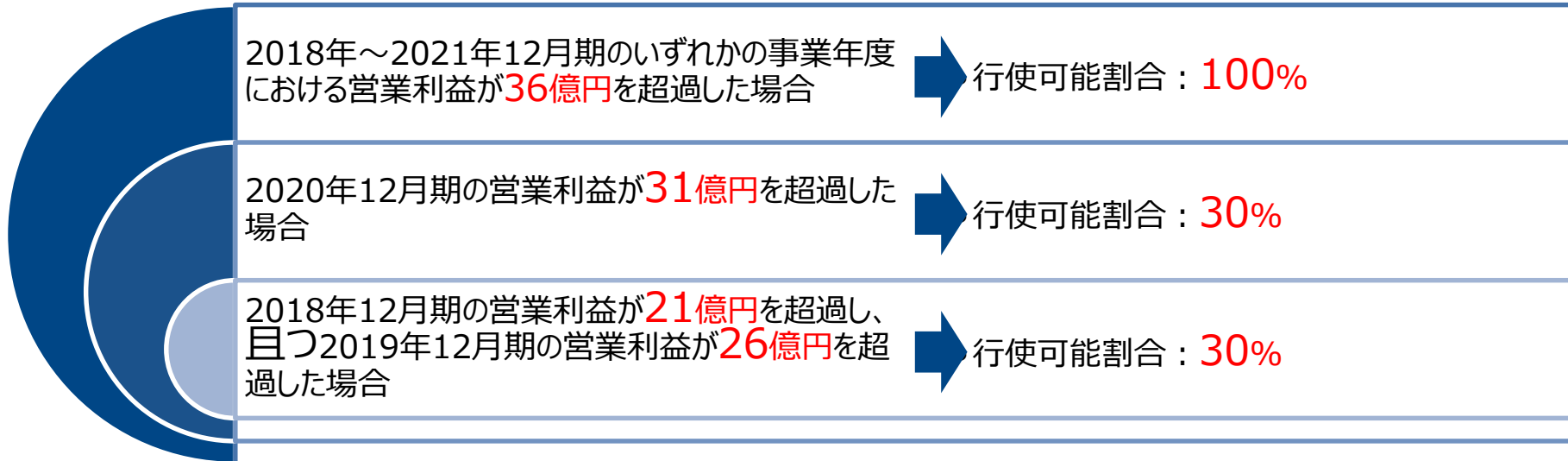


有償ストック・オプション発行概要 (2017.11.13取締役会決議)



※2017.11.30募集新株予約権発行内容確定に関するお知らせ抜粋

項目	詳細
名称	株式会社ビジョン 第3回新株予約権
発行数	13,560個 (新株予約権1個につき100株、普通株式1,356,000株)
発行価格	新株予約権1個あたり1,600円
発行価格の総額	3,510,684,000円
対象	当社取締役(社外取締役を除く)、当社従業員、当社子会社従業員 163名 13,560個
新株予約権の行使の条件 ※下表参照	なお、2018年12月期から2021年12月期のいずれかの事業年度における営業利益が16億円を下回った場合、既に行使可能となっている新株予約権を除き、それ以後の新株予約権を行使することができない。



事業概要

証券コード 9416 (東京証券取引所一部)

設立年月日 2001年12月4日 (創業1995年6月1日)

経営理念 世の中の情報通信産業革命に貢献します。

本社所在地 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー5階

連結従業員数 708名 (145名)
(内、平均臨時雇用人員)
国内: 623名 (136名)
海外: 85名 (9名)
(2018年12月末現在)

連結子会社 国内6社 海外12社
(2018年12月末現在)

事業内容 グローバルWiFi事業
情報通信サービス事業

拠点

- 国内子会社 6社
- 国内営業所 16拠点
- 国内空港カウンター15ヶ所
- 海外子会社 12社
韓国、米国 (ハワイ)、香港、シンガポール、台湾、英国、ベトナム、中国 (上海)、フランス、イタリア、米国 (カリフォルニア)、ニューカレドニア

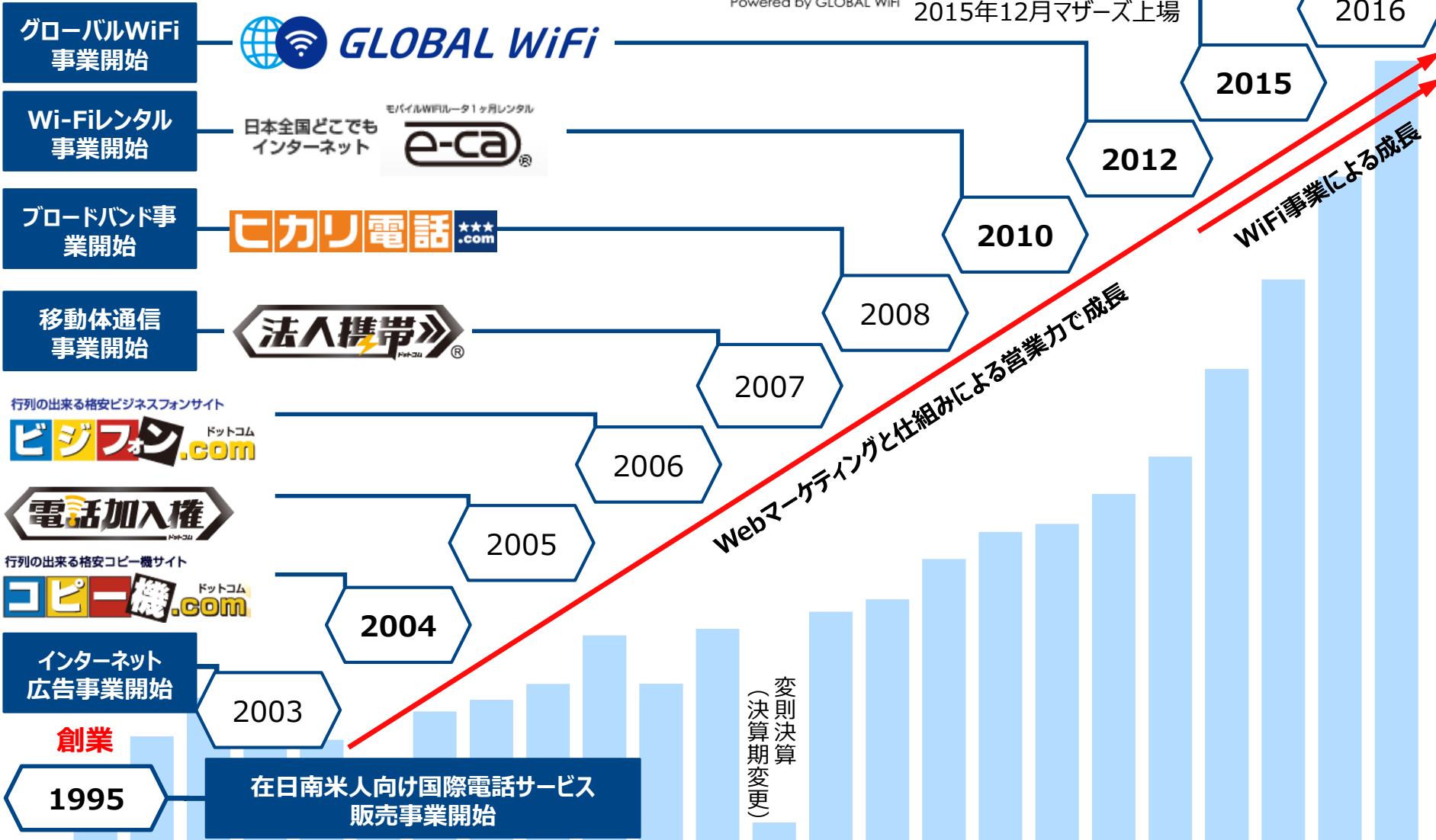


沿革および売上高推移

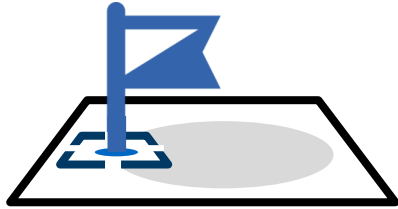
2016年12月東証一部市場変更



2015年12月マザーズ上場



ニッチ& フォーカス戦略



- 情報通信の進化のすき間に生まれた課題を見出し、新たなマーケットを開拓。
- 厳選したターゲットへ経営資源を集中させサービスを極める。

- ✓ 海外渡航者
- ✓ スタートアップ企業

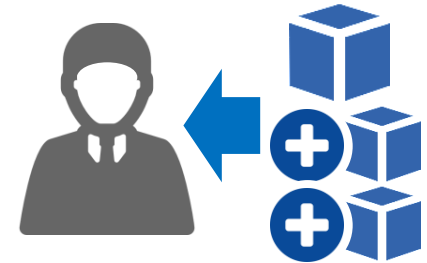
プライス&クオリティ リーダーシップ戦略



- 生産効率を徹底追及。
- 組織体制と業務スピードの向上で実現。
- サービスの質の高さを保ちながら、他社を凌駕する価格競争力を発揮。

- ✓ 生産性・価格優位性
- ✓ サービス品質評価

アップセル・ クロスセル戦略



- 情報通信サービスの新たなニーズを拾いあげ、適切なタイミングで適正な価格でサービスを継続的に提供。
- 顧客との長期的なリレーションを構築。

- ✓ 独自のCRM
- ✓ スtockビジネス

2つの事業セグメント

グローバルWiFi事業

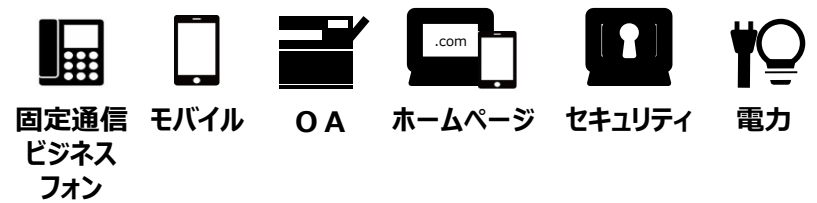
- 世界中、いつでも・どこでも・安心・安全・快適モバイルインターネット。
 - レンタルサービス
 - 複数名、複数機器（同行者、スマートフォン、ノートPC等）で接続可能。

情報通信サービス事業

- 起業時から、企業の成長ステージ・ニーズにあわせた最適な情報通信関連製品・サービスを提供。
- 独自の販売体制、CRM。
 - Webマーケティング×営業×CLT（カスタマー・ロイヤリティ・チーム）



<p>Step 1</p> <p>お申込み・決済</p> <p>WEBからのお申込み。お申込み時にクレジット決済が必要です。</p>	<p>Step 2</p> <p>機器のお受取り</p> <p>国内空港または宅配、現地でお受取り。 ※現地でのお受取りは一部の国限定です。</p>	<p>Step 3</p> <p>現地をご利用</p> <p>現地ネットで楽しみ下さい。WiFi設定も簡単です。</p>	<p>Step 4</p> <p>機器のご返却</p> <p>国内空港または宅配、現地でご返却。 ※返却BOXは一部空港を除きます。 ※現地でのご返却は一部の国限定です。</p>
渡航前		渡航中	帰国後





世の中の情報通信産業革命に貢献します。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

- お問い合わせ： 広報・IR部 ir@vision-net.co.jp